

知っていますか？

キラリ[☆]と光る
身近な企業の技術力

～卒業生の地元での活躍を目指して～

2026

発行：独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校

発刊に寄せて

学生の皆さんへ

この『キラリと光る身近な企業の技術力 2026』は、皆さんのが進路を考えるうえで、確かな指針となる一冊です。

これまでの学生生活を振り返ってみてください。皆さんは「キャリア教育を通じた学び」を積み重ねてきました。1年生の頃から始まったキャリアガイダンス、2年生での先輩講座や校外研修、3年生での研究旅行や進学希望者向けガイダンス、そして3・4年生でのキャリア教育セミナーなど、多くの機会を通じて「働くこと」や「学び続けること」について考えてきたはずです。そして今、4年生や専攻科生の皆さんには、その集大成として「自分の未来」を形にする選択をする時を迎えています。

しかし、企業のことを調べようと思っても、「どんな仕事をしているの?」「どんな人が働いているの?」「将来性は?」といった具体的な情報は、なかなか見えてこないものです。インターネットで検索しても、企業の公式情報だけでは、実際の働き方や職場の雰囲気、やりがいまでは分かりません。

この書籍には、福井県内外の111社から寄せられた生の声と情報が詰まっています。先輩たちが実際に働いて感じた仕事の魅力ややりがい、企業の特色や技術力、そして地域で働くことの価値。きっと、今まで知らなかった発見があるはずです。「こんな面白いものを作っている会社があるんだ!」「この会社で挑戦してみたい!」そんな気づきが、皆さんの未来を広げるきっかけになることを願っています。

福井県には、世界に誇れる技術力を持つ企業が数多くあります。しかし、その魅力は必ずしも十分に知られているわけではありません。地元にいながら、実は知らない企業がたくさんあるのです。さらに、この書籍に掲載されている企業は、皆さんの教育や研究を応援し、地域と学校の連携を大切にしている福井高専地域連携アカデミア会員企業です。だからこそ、ここで紹介する情報は、単なる企業紹介ではなく、皆さんの未来を考えるうえで信頼できる情報です。この本は、皆さんと企業をつなぐ「出会いの場」です。ページをめくりながら、地域で働くことの意味や可能性を感じてください。

皆さんの未来は、皆さん自身の手で切り拓くものです。進路選択は、人生の大きな分岐点ですが、決して一人で悩む必要はありません。先生方、キャリア支援室、そして地域の企業が、皆さんの挑戦を応援しています。この書籍が、その一歩を踏み出すためのヒントとなることを心から願っています。

令和8年1月

キャリア支援室長
地域連携テクノセンター長

掲載企業一覧 (50音順)

あ	(株)アートテクノロジー (鯖江市)	1
	アイ・システム(株) (東京都千代田区)	2
	アイナックス稻本(株) (石川県白山市)	3
	あおみ建設(株) (東京都千代田区)	4
	揚原織物工業(株) (鯖江市)	5
	(株)アテック (愛知県名古屋市)	6
い	石黒建設(株) (福井市)	7
	井上商事(株) (福井市)	8
う	(株)ウエキグミ (越前市)	9
	(株)ウノコーポレーション (越前市)	10
え	(株)エイチアンドエフ (あわら市)	11
	(株)S I G (東京都千代田区)	12
	F T E C(株) (敦賀市)	13
お	O S P レーベルストック(株) (滋賀県米原市)	14
	大阪シーリング印刷(株) (大阪府大阪市)	15
	(株)大虫電工 (越前市)	16
	オカモト鐵工(株) (福井市)	17
	オリエンタル白石(株)大阪支店 (大阪府大阪市)	18
か	(株)ガイアート 北陸支店 (石川県金沢市)	19
	海洋技術建設(株) (東京都江戸川区)	20
	(株)環境総合リサーチ (京都府相楽郡精華町)	21
	(株)カンセツ 滋賀事業所 (滋賀県草津市)	22
き	(株)キミコン (鯖江市)	23
	極東興和(株) (広島県広島市)	24
く	(株)熊谷組北陸支店 (石川県金沢市)	25
	(株)クレスコ (東京都港区)	26
け	京福コンサルタント(株) (小浜市)	27
こ	(株)ゴーシュ (滋賀県湖南市)	28
	国土防災技術(株)福井支店 (福井市)	29
さ	(株)サイエンスクラフト (越前市)	30
	(株)サカイエルコム (福井市)	31
	サカイオーベックス(株) (福井市)	32
	酒井化学工業(株) (鯖江市)	33
	坂川建設(株) (福井市)	34
	サカセ化学工業(株) (福井市)	35
	鯖江精機(株) (丹生郡越前町)	36
	(株)鯖江村田製作所 (鯖江市)	37
	サンエー電機(株) (福井市)	38
	(株)サンルックス (鯖江市)	39
	(株)サンワコン (福井市)	40
し	塩野フィネス(株) (大阪府大阪市)	41
	(株)j i g . j p (鯖江市)	42
	ジビル調査設計(株) (福井市)	43
	島津産機システムズ(株) (滋賀県大津市)	44
	島津プレシジョンテクノロジー(株) (滋賀県大津市)	45
	(株)清水組 (鯖江市)	46
	(株)シャルマン (鯖江市)	47
	ショーボンド建設(株) (東京都中央区)	48
	信越化学工業(株)武生工場 (越前市)	49
	(株)S H I N D O (あわら市)	50
す	スガイ化学工業(株)福井事業所 (福井市)	51

せ	(株)関組 (越前市)	52
	全日本空輸(株)教育訓練部 (東京都大田区)	53
た	大鉄工業(株)北陸支店 (石川県金沢市)	54
	タイヨー電子(株) (鯖江市)	55
	(株)高野組 (越前市)	56
	(株)武田機械 (福井市)	57
	武生特殊鋼材(株) (越前市)	58
	(株)田中化学研究所 (福井市)	59
	田中建設(株) (越前市)	60
	(株)田中地質コンサルタント (越前市)	61
	(株)T A Y A S U (福井市)	62
ち	(株)中央設計技術研究所 (石川県金沢市)	63
て	テックファーム(株) (東京都新宿区)	64
	(株)寺本鉄工 (福井市)	65
	(株)デルタコンサルタント (福井市)	66
と	(株)東京ウエルズ (東京都大田区)	67
	東京水道(株) (東京都新宿区)	68
	(株)T O K O (鯖江市)	69
	(株)東洋設計 (石川県金沢市)	70
	東洋染工(株) (坂井市)	71
	(株)トキワ (岐阜県中津川市)	72
	轟産業(株) (福井市)	73
な	内外エンジニアリング(株) (京都府京都市)	74
	(株)ナカテック (坂井市)	75
	中日本土木(株) (越前市)	76
	(株)ナチュラルスタイル (福井市)	77
	ナック・ケイ・エス(株) (福井市)	78
に	日華化学(株) (福井市)	79
	日光産業(株) (福井市)	80
	日信化学工業(株) (福井市)	81
	(株)日本ピー・エム・シー (敦賀市)	82
	(株)日本エー・エム・シー (福井市)	83
	日本純良薬品(株) (坂井市)	84
は	パナソニックインダストリー(株) (福井市)	85
ふ	(株)F I X E R (東京都江東区)	86
	福井キヤノンマテリアル(株) (福井市)	87
	福井鐵工(株) (福井市)	88
	福井鋳螺(株) (あわら市)	89
	(株)福井村田製作所 (越前市)	90
へ	ベルテクス(株) (福井市)	91
ほ	ホクコンマテリアル(株) (福井市)	92
	(株)ホクシン (福井市)	93
	北伸電機(株) (大野市)	94
	(一財) 北陸電気保安協会 (富山県富山市)	95
	北陸リトレッド(株) (越前市)	96
ま	前田工織(株) (坂井市)	97
	前田道路(株) (東京都品川区)	98
	増永眼鏡(株) (福井市)	99
	丸一調査設計(株) (福井市)	100
	丸文通商(株)福井支店 (福井市)	101
み	(株)見谷組 (福井市)	102
	(株)道端組 (福井市)	103
	(株)ミルコン (福井市)	104
め	盟友技研(株) (福井市)	105

や	株八木熊（福井市）	106
	柳井化学工業株武生工場（越前市）	107
	山田技研株（福井市）	108
ゆ	ユニフォームネクスト株（福井市）	109
よ	吉岡幸株（福井市）	110
わ	株ワカヤマ（鯖江市）	111

※福井高専地域連携アカデミアへの登録名称・所在地を記載しています。

福井高専地域連携アカデミア 会員企業一覧

令和8年1月16日時点/163社

会員企業等名	所在地
(株)アートテクノロジー	鯖江市
アイ・システム(株)	東京都千代田区
アイナックス稻本(株)	石川県白山市
あおみ建設(株)	東京都千代田区
揚原織物工業(株)	鯖江市
旭化学工業(株)	坂井市
アステック(株)	大阪府吹田市
(株)アテック	愛知県名古屋市
ES(株)	鯖江市
石黒建設(株)	福井市
井上商事(株)	福井市
(株)ウエキグミ	越前市
(株)ウノコーポレーション	越前市
(株)エイコー技術コンサルタント	敦賀市
(株)エイチアンドエフ	あわら市
(株)SIG	東京都千代田区
FTEC(株)	敦賀市
OSPLABELSTOCK(株)	滋賀県米原市
大阪シーリング印刷(株)	大阪府大阪市
(株)大阪防水建設社	大阪府大阪市
大阪有機化学工業(株)	大阪府大阪市
(株)大虫電工	越前市
オカモト鐵工(株)	福井市
小野谷機工(株)	越前市
オリエンタル白石(株)大阪支店	大阪府大阪市
(株)ガイアート 北陸支店	石川県金沢市
海洋技術建設(株)	東京都江戸川区
(公財)核物質管理センター	東京都台東区
(株)川上測量コンサルタント	福井市
(株)環境総合リサーチ	京都府相楽郡精華町
(株)カンセツ 滋賀事業所	滋賀県草津市
(株)キミコン	鯖江市
共立産業(株)	福井市
極東興和(株)	広島県広島市
(株)熊谷組北陸支店	石川県金沢市
(株)クレスコ	東京都港区
京福コンサルタント(株)	小浜市
(株)光陽コンサルタント	福井市
(株)ゴーシュ一	滋賀県湖南市
国土防災技術(株) 福井支店	福井市
(株)サイエンスクラフト	越前市

会員企業等名	所在地
(株)サカイエスティック	福井市
(株)サカイエルコム	福井市
サカイオーベックス(株)	福井市
酒井化学工業(株)	鯖江市
坂川建設(株)	福井市
サカセ化学工業(株)	福井市
(株)鯖江工業所	鯖江市
鯖江精機(株)	丹生郡越前町
(株)鯖江村田製作所	鯖江市
サンエー電機(株)	福井市
三機工業(株) 北陸支店	富山県富山市
(株)サンルックス	鯖江市
(株)サンワコン	福井市
塩野フィネス(株)	大阪府大阪市
(一社)滋賀県建設業協会	滋賀県大津市
(株)jig.jp	鯖江市
ジビル調査設計(株)	福井市
島津産機システムズ(株)	滋賀県大津市
島津プレシジョンテクノロジー(株)	滋賀県大津市
(株)清水組	鯖江市
(株)シャルマン	鯖江市
ショーボンド建設(株)	東京都中央区
信越化学工業(株)武生工場	越前市
(株)SHINDO	あわら市
スガイ化学工業(株) 福井事業所	福井市
(株)SCREEN SPEサービス	京都府京都市
(株)閥組	越前市
全日本空輸(株)教育訓練部	東京都大田区
(株)ダイエイ	越前市
大鉄工業(株)北陸支店	石川県金沢市
タイヨー電子(株)	鯖江市
大和建設(株)	越前市
大和電建(株)	福井市
(株)高野組	越前市
(株)武田機械	福井市
武生特殊鋼材(株)	越前市
(株)田中化学研究所	福井市
田中建設(株)	越前市
(株)田中地質コンサルタント	越前市
(株)TAYASU	福井市
(株)中央設計技術研究所	石川県金沢市

会員企業等名	所在地
中央測量設計(株)	福井市
中部鉱業(株)	南条郡南越前町
(株)辻広組	福井市
(株)帝国コンサルタント	越前市
テックファーム(株)	東京都新宿区
(株)寺本鉄工	福井市
(株)デルタコンサルタント	福井市
(株)東京ウエルズ	東京都大田区
東京水道(株)	東京都新宿区
(株)TOKO	鯖江市
(株)東洋設計	石川県金沢市
東洋染工(株)	坂井市
(株)トキワ	岐阜県中津川市
(株)TOP	越前市
(有)トップテクノ	鯖江市
轟産業(株)	福井市
飛島建設(株) 北陸支店	福井市
(株)トヨタシステムズ	愛知県名古屋市
内外エンジニアリング(株)	京都府京都市
(株)ナカテック	坂井市
中日本建設コンサルタント(株)	愛知県名古屋市
中日本土木(株)	越前市
(株)ナチュラルスタイル	福井市
ナック・ケイ・エス(株)	福井市
(株)浪速ポンプ製作所	大阪市
西田建設(株)	福井市
(株)西村組	吉田郡永平寺町
日華化学(株)	福井市
日光産業(株)	福井市
日信化学工業(株)	越前市
日東電工(株)	大阪府大阪市
(株)日本ピーエス	敦賀市
(株)日本エー・エム・シー	福井市
日本純良薬品(株)	坂井市
日本たばこ産業(株) 東海工場	静岡県磐田市
長谷川体育施設(株)	新潟県新潟市
パナソニックインダストリー(株)	福井市
(株)日立ハイテクフィールディング	東京都港区
(株)FIXER	東京都江東区
福井キヤノンマテリアル(株)	福井市
(株)福井銀行	福井市

会員企業等名	所在地
福井太陽(株)	福井市
福井鐵工(株)	福井市
福井鉄螺(株)	あわら市
(株)福井村田製作所	越前市
福井めがね工業(株)	鯖江市
富士フィルム富山化学(株)	富山県富山市
古河電工メタルケーブル(株)福井工場	坂井市
ベルテクス(株)	東京都
ホクコンマテリアル(株)	福井市
(株)ホクシン	福井市
北伸電機(株)	大野市
(株)ほくつう 福井支社	福井市
(一財)北陸電気保安協会	富山県富山市
北陸電話工事(株)	石川県金沢市
北陸リトレッド(株)	越前市
前田工織(株)	坂井市
前田道路(株)	東京都品川区
増永眼鏡(株)	福井市
(株)松浦機械製作所	福井市
丸一調査設計(株)	福井市
(株)丸仁	福井市
丸八(株)	坂井市
丸文通商(株) 福井支店	福井市
(株)見谷組	福井市
(株)道端組	福井市
三菱電機プラントエンジニアリング(株)	愛知県刈谷市
(株)ミルコン	福井市
盟友技研(株)	福井市
明和工業(株)	福井市
(株)八木熊	福井市
柳井化学工業(株)武生工場	越前市
山田技研(株)	福井市
ユニフォームネクスト(株)	福井市
吉岡幸(株)	福井市
(株)吉田機工	福井市
レンゴー(株)武生工場	越前市
YK建設(株)	越前市
(株)ワカサコンサル	小浜市
(株)ワカヤマ	鯖江市
(株)若吉製作所	鯖江市

株式会社アートテクノロジー



新規事業推進部 部長
飯田 晶彦
電子情報工学科
2012年卒業



〒916-0037 福井県鯖江市上河端町 6-1-33
TEL 0778-54-8080

基礎があるから挑戦できる。高専での学びと今の仕事。

新しい技術で課題解決に取り組む

私たちの主力事業はシステムインテグレーションといい、システム開発を通して企業や社会が抱える課題を解決する仕事です。IT技術は日々急速に進化しており、従来の開発手法では対応しきれなかった問題も、新たな技術によって解決できる可能性が広がっています。私は、最新のIT技術や各業界の動向をリサーチしながら、新しいソリューションの企画・検証に取り組んでいます。

もともとはシステムエンジニアとして開発現場に携わっており、事業企画の経験はありませんでしたが、「新しいソリューションで社会に貢献したい」という思いを原動力に、日々学び続けています。部長という立場に責任の重さを感じつつも、その分だけ大きな裁量を持って挑戦できることに、やりがいを感じています。

高専で学んだ“幅広い基礎”が信頼の土台に

高専では、専門に限らず幅広い工学の基礎知識を学びます。一見すると仕事に関係のない知識も多いように思えますが、実際にはそれが活ける場面があります。

システム開発の現場では、私たちが向き合う相手はシステムそのものではなく、その先にいる多種多様な業界・業種のお客様です。お客様と話す際に、情報分野以外の知識が役立つ場面は少なくありません。お客様にとっては当たり前のことを、当たり前に理解し、会話できることが信頼の基盤となり、結果的に自分のキャリアにも活きていると感じています。



金融公共システム第2事業部

布施 詠政

函館高専専攻科

2020年卒



〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13

TEL 03-5276-0222

「たくさんの学生を支えるシステム開発にやりがい」

多くの人が利用するシステムを支えることに、大きなやりがいを感じています。

現在は、年間で550万人が利用する年間2.3兆円の社会インフラ、奨学金システムの開発に携わっています。日々の運用を通じて、自分たちが作った仕組みを必要としている人がいることを実感します。

安定して稼働し続けることが求められるため、責任を感じる場面も多いですが、その分、無事に稼働を確認できたときの達成感は大きいです。

課題に直面することもありますが、チームで協力しながら解決に取り組む中で、技術力とともに考える力や責任感が育まれていると感じます。

高専で得た知識と経験は、社会に出てからの確かな力になります。

高専では、情報分野の基礎となるネットワーク、データベース、システム設計などを幅広く学びました。これらの学びは現在の業務に直結しており、システム開発はもちろん、理論的に考えて判断する力として生きています。また、授業や研究を通じて、自ら課題を設定し、試行錯誤しながら解決策を導く姿勢を身につけました。

部活動では、チームとして行動する大切さや、目標に向かって努力することの大切さを学びました。高専で培った論理的思考力と、本質をとらえて課題を解決する力を大切にしながら、ぜひ自分の可能性を広げていってください。



プラント設計部

山下 侑莉

物質工学科

令和5年卒業



〒924-0052 石川県白山市源兵島町 948

TEL 076-277-2211

人々の「清潔」を守る仕事

開発という仕事に携わって

私は企画開発設計部に所属しています。企画開発設計部は、新しい商品を開発する部門であり、洗い・脱水・乾燥・仕上げ、すべての工程において品物の仕上がりの満足だけでなく、熱や水など資源の再利用、省エネ性能の向上、安全性の確保を目指した設計や、洗浄性の研究などを行っています。

私は現在、連続洗濯機の開発チームですが、その前は仕上げ機の設計、試験をしていました。特に設計は高専でやってきた専門外のことだったので、設計で使うソフトや製図のルールなど全く何もわからない0からのスタートでとても苦労しました。しかし、分からぬ事はすぐに聞き、先輩や上司の方々にサポートいただき、今では全くできなかった設計も少しではありますが、できるようになりました。

自分が設計したものが実際動いていたり、試験で試行錯誤して結果が出たときはとてもやりがいが感じられます。

悔いのない学生生活を！

学生、社会人で共通して言えるのは、失敗を恐れず、何事にもチャレンジすることだと考えています。特に、新人のうちは失敗することも仕事の一つです。開発の仕事は卒業研究の延長のようなもので、試行錯誤しながら試験・研究を進めています。皆さんも失敗を恐れず、いろいろなチャンスを逃さないよう、悔いのない学生生活を送ってください！

あおみ建設株式会社



名古屋支店 土木部

上本 祐太

徳山工業高等専門学校 土木建築工学科
平成 31 年卒業



〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-2-3
TEL 03-5209-7764

ものづくりに興味がある人へ

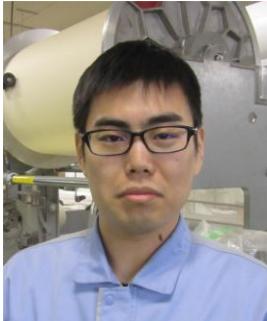
現場監督のやりがい

元々「ものづくり」に興味があった私は、工事現場で土木施工管理をしています。この仕事は、工事に関わる人々の協力を得ながら進めています。学生の頃、私はつくり上げるモノにばかり目が向いていましたが、実際に働いてみると、工事現場には”モノがある”のではなく、それをつくる”人がいる”のだと気づかされました。

工事現場という非日常な空間で働く作業員さん達の安全を守りつつ協力して仕事を進め、無事工事が完了した時はホッとしています。また、協力してくれた人たちに感謝しながら、完成した工事現場を見たときに感じるものがこの仕事の”やりがい”なんだと思います。

技術者としてスタートする準備ができていた

今思うことは、高専で学んだ知識や技術は実践的だったんだなということです。私の場合、最初に配属された工事現場で先輩社員から聞いた工事や工法の説明、指導や指示の内容も、わりとすんなりと理解することができました。土木技術者として働くためのベースの知識や経験が、高専生として過ごした日々の中で自分の中に蓄積されていたんだと、後から気が付きました。特に測量はゼネコン若手社員にとって必須といつてい技能で、入社当初から高専時代の実習経験が大いに役に立ちました。社会に出ることに不安な気持ちもあると思いますが、学生生活の中で十分に準備することができます。無理に背伸びせず、今の生活を大切にして 1 歩 1 歩成長して社会に出る準備をされてください。



戸ノ口工場 生産課
梅田 雄太
生産システム工学専攻
平成 27 年修了



〒916-1113 福井県鯖江市戸口町 17-15

TEL 0778-65-1522

世界に誇る製品作り、一流の企業で求められる人材

良い品質、より良い職場環境を目指して

わが社ではベルベットと呼ばれる起毛織物を糸から製織、加工まで一貫生産しており、私はそのベルベットを織る織機の調整・保全を行っています。織機の状態はベルベットの品質を左右します。品質が悪いと製品にならない為、織機保全は責任を伴う重要な作業となります。生産納期も考慮しつつ品質を落とさないように織機調整を行う業務を重荷に感じることもありますが、自分が調整した織機で上手く織れるようになった時の達成感は大きいです。

また、わが社ではQC活動や改善提案の制度を導入し、職員による自発的な品質向上、業務改善を行っています。こうした活動では在学時に得た技能を活用する機会が多い為、職場に貢献できている実感が得られ、日々の業務意欲を上げる原動力となっています。

何が役に立つか分からぬ、だから何でもやってみる

在学時の思い出といえば高専ロボコンです。ロボットを作る為には機械工作の能力、電気工作の能力、プログラミングの能力が必要になります。在学時にはそれぞれの学科が分担することでロボットを組み上げることが出来ましたが、会社ではどのような能力が必要になるか分かりません、一人で複数の分野の知識が必要になるかも知れませんし、全く別の分野を改めて学び直すこともあると思います。その時になって学ぶのが遅いとは言いませんが予備知識があるのと無いのでは理解する速度も違ってくると思います。学生、特に専攻科の皆さんには他学科・他分野の知識を学ぶ機会があるので自分だけではなく多くのことに興味を持って学ぶことをお勧めします。



名古屋本社 SDV 事業部
市橋 勇志(いちはし ゆうじ)
電気電子工学科卒
2015 卒



〒461-0004
愛知県名古屋市東区葵三丁目 24 番 4 号
TEL 052-990-9119

車載ソフト開発は高専で学んだことが活かせる

自分が設計したものが役に立っていることが実感できる

現在、車載用ソフトの設計、評価を担当させていただいている。

主に担当しているのは CAN 通信の設計です。

やっていて楽しいと思うことは、あたりであります、自分が設計した CAN 通信が実際に ECU から出力され、シミュレーターやオシロスコープなどで測定できた時は楽しいです。

逆に苦労するところは、プロジェクトにもよりますが 1 つの ECU に数十個～百個程のデータのやりとりをすることがあります、そのときは数が多くて内容を把握するのが大変ですね。

ECU において CAN 通信はほとんどの機能の要になるところなので、自分が設計した CAN が他の機能で実際に使われているところを見るとやりがいを感じます。

電気電子工学科で学んだことが、ソフトウェア開発で活きている

自分は電気電子工学科の卒業ですが、現在はソフトウェア開発をしています。一見全く別のジャンルのことをやっているように思えますが、意外にも学生の頃に学んだ回路図の知識や、測定機材の使い方などは今でもよく使うため、高専で学んだことは全く無駄にはなっていません。周りが情報系学科出身の人が多いので、回路図や、測定機材の使い方などが知らない人が実は大多数だったりします。これから社会人になる高専生の皆さん、社会人になるにあたって、不安なことや心配なこともたくさんあると思いますが、あまり頑張りすぎず、自分を大切に、無理のない社会人生活を送ってください。



土木部
野村 明生
環境都市工学科
令和4年卒業



〒910-8540 福井県福井市西開発 3-301-1
TEL 0776-54-1496

高専で学んだことを活かして

建設業の楽しさ

施工管理の仕事は、様々な業種の人たちに出会うので、職人の方達と会話をすると自分の知らない知識などを得ることができ、楽しいです。また、少しずつ変化していく工事現場に身を置いて、出来上がっていく過程を見ていくことができて、日々充実しています。しかし、建設業は高齢化が進んでおり、工事現場に配属された当初は、年上の方々が多くコミュニケーションを取ることの難しさを感じていましたが、月日を重ねるごとに他愛もない話もできるようになり、コミュニケーションをとることが楽しくなりました。私は、入社4年目ということもあり、まだ覚えることは沢山ありますが、任される仕事やできることが増えてきてやりがいを感じる日々を過ごしています。

測量の授業が仕事に活きる

高専で学んでいる時は「測量なんて将来使うのだろうか」と思いながら授業を受けていました。当時は、レベル測量を最初に行ったとき据え付けに相当時間がかかり、測量誤差もかなり大きく「こんなものどうしたら上手くいくんだ」と非常に難しさを感じていました。しかし、今では日常的に測量を行うため据え付けもかなり早くなり、誤差もほとんど発生しなくなりました。皆さんも環境都市工学科に在籍していれば、測量を学ぶ機会があると思います。建設業は学んだことをそのまま生かせる分野です。高専は様々な分野の勉強を幅広く行うことができるので、是非、学んでいく中で夢や目標を持って、自分の納得できる道を見つけ出してください。



開発部
内藤 祐大

環境都市工学科 令和 2 年卒業
豊橋技術科学大学修士課程
建築・都市システム学専攻 令和 6 年修了



〒910-0859 福井県福井市日之出 2-1-6
TEL 0776-27-8380

学生は基礎、社会人は応用

会社に入ってから成長の日々

私は現在、開発部で主に手作り製品に関わっています。計算や作図を通してより安全性とデザイン性に優れた製品を開発する仕事をしています。

仕事で楽しいことは、自分で作図してのづくりができる事です。開発のために試作検討を行って日々良い製品づくりを目指しています。逆に大変なことは、スケジュール管理です。様々な業務が同時に進んでいるため何を優先すべきか自分で決める必要があります。入社して 2 年目となってやるべきことが増えてきてはいますが先輩・上司に相談に乗ってもらいながら、一つ一つ確実に業務をこなしています。こういった積み重ねで 1 年目の自分よりも成長を感じができるのも仕事のやりがいの 1 つだと私は思っています。

実習は良い練習場

私は高専の強みは実習の多さにあると思っています。化学・物理実験、実測実習、製図、デザイン、土木関連の実習など実際にやってみてレポートを書く、発表をするといった機会が多く設けられていました。このレポートを書いたり発表したりといったことは学生時代非常に煩わしく感じていましたが、人に伝える能力を身に着けるという点で非常に重要なことだったと社会人になって製品の説明などをする機会が増えてから気が付きました。技術者は「いいものを作る」では足りません。「いいものを作り使ってもらう」までしなくてはいけません。使ってもらうためにはそのものの良さを伝える力が必要になります。機会が与えられている学生生活で少しでも経験値を稼いでおきましょう。



株式会社

ウエキイミ



建築工事部
牧野 大
福井大学 建築・都市環境工学科
2021 年卒業



(本社) 〒915-0071 福井県越前市府中 3 丁目 9-1
TEL 0778-24-3300
(建築本部) 〒918-8015 福井県福井市花堂南 2 丁目 1-13
TEL 0776-35-4800

夢を実現（カタチに）するために！

仕事のやりがい、現場で楽しいと感じる瞬間

入社 5 年目で建築工事の施工管理をしています。

「建築」は世界に 1 つだけの建物を創る究極のモノづくりの仕事です。

まだまだ分からぬことが多いですが、徐々に色々な仕事をさせてもらえるようになりました。

ひとつひとつの仕事をきちんと達成していくことはもちろんですが、自分なりの課題をつくって、それをクリアしていくことにもチャレンジしています。

任せられた仕事を達成すれば評価してもらえるのはもちろんですが、失敗してもきちんとフォローしてもらえるため色々なことに挑戦でき、また成果が目に見えて分かりやすいところが面白いと思っています。

福井高専生のみなさんへ

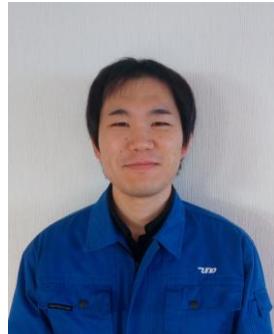
私は普通科高校から大学で建築の道に進みました。

学校で学んだことも言うまでもなく重要なことばかりでしたが、なんといっても実際に仕事として取り組むことで得られるスキルに勝るものではありません。

ですが、学生時代に一生懸命取り組んだことは仕事をおぼえていくうえで、さらに大切なものです。

ぜひ今の時間を大切に、精一杯、様々なことにチャレンジしてください。

近い将来、皆さんと一緒に仕事できることを期待しています！



製造部 製造3課主任

勝木 文哉

福井大学 工学部 機械工学科

平成25年卒業



〒915-0801 福井県越前市家久町 105-27

TEL 0778-24-3557

自分を成長させ、社会に役立つ仕事

工具製作という仕事

弊社では、機械加工を行う日本のものづくり会社、車、電機航空機産業などのお客様向けにエンドミルやドリルなどの切削工具を改善提案営業で受注し製造販売しています。お客様は日本全国にいらっしゃり、世の中の製品には我々が製作した工具を使って加工されたもののが多数あります。

私の所属する製造3課では、お客様の要望に沿った切削工具を設計し、工作機械を用いて製造を行っています。私が入社した時、当たり前ですが私は切削工具についての知識はほとんど持っておらず毎日が学ぶことの連続でした。時には失敗をすることもありましたが、初めてひとりで工具を製作出来たときはとても喜びと達成感を感じました。仕事に慣れた現在でも数が多い仕事や難しい仕事をやり終えたときは達成感を感じることができ、成長出来る環境がやりがいにもつながっています。

学生時代の経験が生きる

私は大学では機械工学科に所属しており、学生の時に材料や力学について学んでいました。正直なところ現在ではその当時の知識はあまり残っておらず今の仕事にそのまま生かせているとは言えません。ですが仕事で新しいことを学ぶ際に、この考え方や単語は聞いたことがあるという場面が多々あります。学生と社会人では必要な知識やスキルが全く違うため、そこに不安を感じている学生の方もいるかと思いますが、社会人になっても毎日が勉強であり、自分を成長させていくという点では学生と変わりありません。勉強・研究した努力は社会人になっても生かしていけます。ワンチームで働く仲間と一緒に成長出来る環境が毎日を楽しく仕事出来、目標を持って生きる事が重要と感じています。

株式会社エイチアンドエフ



技術本部 プレス部 設計
松本 恵哉
機械工学科
令和3年卒業



〒919-0695 福井県あわら市自由ヶ丘一丁目 8 番 28 号

TEL 0776-73-1220(代)

設計の楽しさ、難しさを日々味わっています！

設計業務の楽しさ

当社は、主に国内外の自動車メーカー向けに自動車ボディをつくる巨大なプレスライン（大型プレス機械とFAシステム製品）の製造・販売・アフターサービスを行っています。

私の仕事はプレス機械の標準設計を行うことです。設計にあたっては、品質向上、コストダウンや作業性向上などの検討に加え、他の部品との干渉などを考える必要があり、よく頭を悩ませています。また、構造を変更する際は、強度計算や解析を行うこともあります。簡単ではありません。

ですが、よいアイデアを生み出すための試行錯誤の中で、同時に楽しさややりがいを感じます。また、自分が描いた図面が製品となってお客様の工場に納入されているのを見ると、大きな達成感を感じることができます。

高専で学んだこと

高専の授業では実験や実習、グループワーク等が多く、「聞く力」「伝える力」「チームワーク」が重要となります。私が学生のときは、意見を述べたり、まとめることを率先して行っていました。この経験は、現在、仕事で上司に報告や相談をする際に非常に役立っていることを実感しています。

高専生の皆さんも日々授業や研究など大変なことが多いと思いますが、ぜひ、「聞く力」「伝える力」「チームワーク」を身につけてください。その経験が将来会社に入って役に立ちます！



北陸・東北事業部／福井事業所

横山 真央

電子情報工学科

令和4年 卒業



〒910-0006 福井県福井市中央 3-1-5 三谷中央ビル 8F
TEL 0776-25-5512

学んだ基礎を糧に、現場で成長し続ける

やりたいことを実現できる会社での4年間

入社して4年目になります。これまで PHP、HTML、CSS、JavaScript を使った Web サイト開発を中心に、請負や準委任などさまざまな案件に携わってきました。

学生時代に学んだ知識を実際の業務でも活用できる場面があり、自信をもって仕事に取り組むことができます。

最近では、これまでの開発経験を活かして要件定義や設計といった上流工程にも関わり、業務の幅が広がっています。

会社では業務以外の雑談なども多く、趣味やゲームの話で盛り上がる時もあります。また、自由参加の飲み会（補助制度あり！）など多く、コミュニケーションの取りやすい環境が魅力です。

やりたい仕事を上司に相談すれば前向きに受け止めてもらえる環境で、私自身も希望を伝えたことで、プログラマー中心の仕事から SE として設計に携わるようになりました。

意欲があれば、若手でもリーダーを任せてもらえる会社です。

学びが今に生きる、高専での経験

高専では情報工学を専攻し、プログラミングの基礎やアルゴリズムなどをじっくり学びました。今でも業務の中で、学生時代に学んだ考え方立ち返ることが多く、確かな土台になっていると感じます。特に資格試験の勉強をする際には、授業内容が役立つ場面が多くありました。学生時代のうちに、IT パスポートや基本情報・応用情報技術者試験に早めに挑戦することをおすすめします。学生のうちに勉強しておくと、就職活動や面接の際にも強みになります。また、在学中は部活動や応援団、ビジネスアイデアコンテストなどに参加し、興味があることには積極的に挑戦することをおすすめします。人とのつながりや経験の幅が広がります。



原子力事業本部 技術部 電気工事課

西端 悅志

電気電子工学科

2024 年卒業



〒914-0814 福井県敦賀市木崎 6 - 1

TEL 0770-22-9311

日本初の高速増殖炉の廃止措置完遂に向けて取り組んでいます！

作業責任者を目指して頑張っています

高速増殖原型炉もんじゅ内で電気設備の保守点検業務を行っています。具体的には、モーターなどに異常がないか、分電盤に取り付けてある電圧計などに誤差がないかなどを検査しています。

もんじゅは現在、日本で初めての高速増殖炉の廃止措置を進めていますが、小さなミスが大きなトラブルにつながることもあります。そうならないよう常に緊張感をもって、日々の業務に取り組んでいます。また、見たことがないような機器を取り扱うことが多いので、勉強しながら作業することも多いですが、ミスなく作業を終えた時は、すごい達成感とやりがいを感じます。今後は自分一人で作業現場を担当できるよう、作業責任者を目指して頑張ります！

高専時代を振り返って

今振り返ると、高専の授業はとても良い勉強になったと思います。高専では基礎的なことはもちろん、専門的なことについても学べました。特に「発変電工学」という授業では、実際に電力会社で働く人を講師に呼んで、発電所に関する事を教えてもらう授業がありました。この授業で学んだ発電所内の設備や様々な対策法などの知識は、もんじゅ内にも通じるものがあるので、高専で学べてよかったです。勉強していく難しいこと、わからないことが多くあると思います。ですが、高専で学んだことは必ず将来役に立ちます。今は大変でしょうが、頑張って乗り越えてください。



技術開発部 生産技術課

篠谷 夏奈

物質工学科

平成 30 年卒業



〒521-0324 滋賀県米原市大清水 613-3

TEL 0749-58-1002

身边にあるラベルに携わる仕事

女性も若手も、誰でも輝ける職場

弊社はラベルやシールの製造を行っており、日常生活で目にするお惣菜の値札やコンビニのおにぎりのシールなど、幅広い製品に使われています。私の所属する部署では、品質管理や製造方法の改善、新規案件の試作などを担当しています。入社前は女性の工場勤務に少し不安もありましたが、技術開発部には女性や若手、そして高専卒の社員も多く、誰でも活躍できる環境が整っています。測定などの細かい作業は女性の方が向いていると感じることもありますし、若手ならではのフレッシュな意見も大切にされています。試作を繰り返しながら製品が完成していく過程は達成感があり、自身の成長を実感できます。

経験が未来を作る

学生生活を振り返ると、楽しい思い出とともに多くの学びがありました。特に、学校行事や卒業研究は、協力すること・考えることの重要性を実感する場となりました。課題に直面したとき、仲間と意見を出し合い、様々な視点から解決策を考えることが成功への道でした。これは、仕事においても同様で、効率的な方法や求められる製品について考える力が不可欠です。「答えは一つではない」という認識が、柔軟な思考を育みます。学生時代に培った思考力や問題解決能力は、今後のキャリアにおいて重要な資産となります。全ての学びが直接仕事に活かされるわけではありませんが、その過程で得た経験は、どんな職場でも役立ちます。だからこそ、学生生活という貴重な時間で、勉強だけでなく様々な経験を通じて沢山のことを学んでほしいと思います。今を楽しみながら、後悔のない充実した学生生活を送ってください！



滋賀工場 品質管理課
田中 里嘉子
物質工学科
平成 30 年卒業



(本 社) 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町 1-8
TEL 06-6763-6785
(滋賀工場) 〒521-0325 滋賀県米原市藤川 650
TEL 0749-58-1001

小さな仕事で大きな信頼を

私たちの生活を支えるために

弊社は主にラベルの製造を行っており、日常生活で私たちが作った製品を見ない日はありません。災害時も私たちがラベルの製造をやめてしまえば、食料品などの供給が止まってしまいます。私はそんな日常生活に必要不可欠なモノづくりの品質管理を行っています。主な業務はイレギュラー発生時の対応や改善が多く、状況によってその時の最善の対応が変わってくるため、多くの経験や知識が必要になってくるので日々勉強中です。現在では重要な仕事もたくさん任せもらえるようになり、毎日忙しく大変だと思いますが、苦労して作ったラベルを私生活で目にしたときにやりがいを感じます。小さな仕事でも真摯に打ち込み、大きな信頼を得られるように頑張っていきたいです。

人との繋がりを大切に

学生時代のことを思い返すと本当にあっという間でしたが、部活動や実行委員、体育祭の応援団長、アルバイトなどたくさんの経験をしてきました。他学年の先輩後輩と活動することが多い為、5年制の高専では高校や大学よりも幅広い人間関係を築くことができます。私がOSPに興味を持ったのも、同じ学科の先輩が企業説明会に来られており、説明会後にやり取りをさせて頂いたことがきっかけです。広い交友関係を持つことで、自分の視野も広がり様々なことに興味を持つことができるの、同学年の友人だけでなく、先輩後輩との関わりも大事にしてほしいです。もちろん、社会人になってからも学生時代の友人の存在はとても大きく、全国に散らばってしまった今でも定期的に集まっています。



設計管理アシスタント

田中 里奈

電子情報工学科

平成 22 年卒業



〒915-0835 福井県越前市岡本町 15-1-10

TEL 0778-23-5044

“働きがいのある会社 2026”認定企業！！

電気を通じてお客様の幸せに貢献、そして女性も働きやすい職場環境

当社では、工場・公共施設や一般住宅等の電気工事を行っています。産業の発展に伴い、様々に変化する電気のニーズにお応えし、より良い提案ができるよう、仕事に励み、日々勉強し、貢献しています。私が携わっている、設計管理業務は、工事全体を把握し、書類・図面作成から現場管理までと、多くの役割がありますが、完成した施設や工場を目にすると度、携わったことに喜びを感じます。様々な分野の方とお話しする機会もあり、刺激を受けること多く、なによりお客様から「ありがとう」という言葉をいただけることが、仕事へのモチベーションに繋がっています。

当社は、女性社員も多く活躍しています。産休・育休等の福利厚生面はもちろん、会社独自の福利厚生面も多く整備されています。また多くの成長環境があり、家族のようなアットホームな社風が特徴です。結婚記念日にケーキをいただけるなど、“社員の家族も大切に”がモットーである、当社ならではのイベントもあります！地域の方々に必要とされ、愛される企業、社員の幸せを追求し自己実現を叶えられる企業になれるよう、社員一丸となって邁進しています。

無駄なものは一つもない

私の仕事は、高専で学んだこととは少し違う分野ですが、仕事をしていく中で役立っていることがたくさんあります。現場管理は、人前で何かを説明し伝えることが重要になってきますが、講義や卒研での発表資料作りや、スピーチ等を何度も経験したおかげで、苦手意識がなく、取り組めます。私の場合、分野外だと思っていた電気の授業で学んだ事が一番役に立っていますし、現場でプログラミングに触れる機会もあり、無駄なことはないと実感しています。学生の皆さんも今を大切にし、たくさんの良い経験を積んでください。



鉄構橋梁部 橋梁営業グループ

北川 敬介

環境システム工学専攻科

令和4年卒業



〒910-0142 福井県福井市上森田 1-102-2

TEL 0776-56-1155

高専時代に学んだ知識を武器に地元でのびのび働く

大手から勝ち取った経験がやりがいに

私は鉄構橋梁部の橋梁営業グループに所属しています。営業と聞くと顧客との接待のような業務を思い浮かべるかもしれません。私も最初はそう思っていましたが、実際はそれ以外にも見積作成や積算、橋梁や水門等の工事書類作成といった業務を行うことが多いです。鉄構橋梁部には橋梁管理グループもあり、こちらは主に自社工場や現場での施工監督もしくは担当者となり、橋や水門を完成させます。これまでの仕事で一番印象に残っているのは、京都府の橋梁物件の積算業務(入札)です。設計価格と入札価格の差が±0円になるよう綿密に積算を行い、大手他社を差し置き自分の力で見事落札出来ました。そのときの達成感は何にも代えられません。この身につけた積算精度で会社の仕事を獲得できることにやりがいを感じています。

苦手だった力学が仕事で頼れる知識に

専攻科まで進み学生のときは漠然と東京で働きたいなと思い、卒業後は東京の東証プライム市場上場企業に運よく就職しました。しかし、隔週土曜出勤の長期休み無し(GW等)、残業が当たり前の生活に耐えきれず入社から1年半で退社し、その後オカモト鐵工(株)に就職し現在まで約4年間働いています。現在の業務には高専時代に学んだ橋梁の力学を構造計算等に活用しています。力学は赤点を取ったことがあり苦手意識がありましたが、実用している今では薄まっています。学生時代にその重要性に気付いていればと後悔しています。まさに後悔先に立たずですね。最後に私が学生の皆さんに伝えたいことは、漠然とした都会への憧れだけで仕事は選ばない方が良いということです。地元でのびのび働くことも、ひとつの選択肢として持っていたら幸いです。



大阪支店 技術部技術チーム

内海 尚樹

明石高専 都市システム工学科

令和5年卒業



※施工実績（角島大橋）

〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目9番1号

肥後橋センタービル5F

TEL:06-6446-0243 Mail:osaka-saiyojinji@orsc.co.jp



高専生から橋梁のプロフェッショナルへ！

巨大な構造物を形にするやりがい

現在、新名神高速道路の拡幅工事に携わっています。1つの橋梁に対して、現場の施工管理、新技術を用いた構造の実験対応、構造物の設計など、多角的に業務に取り組む中で、日々学ぶことの面白さを感じています。特にやりがいを感じるのは、自分が設計・施工に携わったものが巨大なインフラとして形になっていくことです。休日に車で現場を通るたび、「この橋が完成したら、多くの人の移動がもっと便利になるのだろうな」と自分の仕事に誇りを感じます。学生時代に教科書で学んだ構造力学が、何トンもの車両を支える現実の構造物になる。このスケールの大きな達成感は、土木系エンジニアならではの醍醐味だと思っています。

高専時代の苦労を「自信と強み」へ

高専時代は、測量実習や実験のレポート作成に追われる日々でした。先生から「一番大切なのは考察だ」と何度も言われたことを鮮明に覚えています。当時の苦労は、社会人になった今、「なぜそうなるのか」「どうすればより良くなるのか」を徹底的に考える「考察力」として、日々の業務に大いに役立っています。入社前は「大学に行っていない分、ハンディがあるのでは?」という不安がありましたが、それは杞憂でした。みんなゼロからのスタートです。特に、オリエンタル白石には高専出身の先輩が多く、仲間意識を感じながら働けます。高専卒であることを、「自信と強み」に変え、学生時代に培ったその「考察力」で、未来のインフラを一緒に創り上げましょう！



株式会社 ガイアート



北陸支店 営業部
中谷 和憲
愛知工業大学 土木工学科
2000年3月卒業



〒920-0031 石川県金沢市広岡1-1-35
TEL 076-232-8926

仕事の達成感とは

保有技術で社会貢献

皆様こんにちは。私は現在ガイアートの「保有技術」の営業に携わっております。保有技術とは会社が独自で研究開発した工法・商品であります。他社には無い独自の武器とも言えます。当社には事故（凍結）抑制舗装の「フルファンクションペーブ」やプレキャストコンクリート舗装版「PRC版」を代表に様々な技術があります。このような技術は、道路管理における「困った箇所」に提案し諸問題を解決します。福井県内においても国道8号や高速道路、敦賀港湾等、様々な場所において採用・展開されており、利用者や発注者（国・県）の方々に喜んで頂いております。保有技術で社会貢献出来ることを誇りに感じ日々楽しみながら業務しております。

趣味と仕事の両立

趣味を楽しみ毎日を充実して過ごすことはとても大事です。私は学生時代の部活動はバドミントンをしており、今でも社会人サークルに加入して練習や大会に参加しています。サークルでは世代を超えて交流しますが、異業種や異なる世代と交わることでたくさんの「元気」をもらっています。この他にも週末は地元サッカーチームのホーム戦を観戦し声を出して騒いでいます。趣味を充実させて仕事と両立することは、大学生活のバイトと勉強の両立と似ていて今も昔も変わりませんが、自分の「生きがい」として大事にしていますので皆さんも楽しんでください。



施工管理

野田 一征

神戸市立科学技術高等学校

都市工学科

令和 3 年卒業



海上クレーン船【KG-500】

◆海上で 4 本の棒(赤白)を降ろして、船を固定させ作業

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 6-1-17-203

TEL 03-5667-6250

街を作る仕事

誇りをもって仕事をする

弊社は、海洋土木工事の施工管理業務を行っています。私は入社して 4 年目になりますが、どの工事に携わっても『周囲・現場の環境』『作業手順』等、すべてが同じわけではなく、各工事に合わせた計画から始まり「安全管理」「工程管理」「品質管理」等の仕事を行います。現場の環境は常に同じではないので、毎日が勉強になり面白いと感じています。構造物を完成させる以外にも災害復旧を行うこともあります。私たちの仕事が地域に貢献していることを誇りに思います。

また、弊社はクレーン付台船という機械を保有しており、クレーンのオペレーターになりクレーンを操縦することもできるので、会社に入り選ぶことができるの、弊社の魅力でもあり、面白さであると思います。

現場から学ぶこと

私は学生時代に土木を専攻し入社しました。入社後、現場で作業を行うと教材だけでは学べないことが多く、毎日が新鮮で学びの連続でした。職人さんにわからないことを聞き、聞いたことを実行に移し施行がうまく進んだ時、達成感と自分の成長を感じることができます。

うまくいかない時もありますが、そのたびに周りの人と助け合い問題を解決していくことが大事だと思います。ゆえに現場ではコミュニケーションを取りながら、一致団結し作業することを学んでいます。



けいはんな事業所
分析ソリューション部
村中 彩織
物質工学科
令和6年卒業



(本社・けいはんな事業所) 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台
2丁目3番9 TEL 0774-41-0200
(中部事業所) 〒444-0012 愛知県岡崎市栄町4丁目1番地
TEL 0564-21-0062
(東京事業所) 〒135-0016 東京都江東区東陽6丁目5-6
TEL 03-6666-0570

環境を科学する、創造する

環境を調査し、その結果をお客様に証明するお仕事

私が所属している分析ソリューション部は、私たちが日々使用している飲料水や工場から出る排水・排気ガスなどが法律によって定められている基準値を超えて環境や人体に影響がないかを検査する部署です。

私の仕事はダイオキシン類の前処理で、試料からダイオキシン類を抽出、精製しています。ダイオキシン類は環境試料中に極微量にしか存在しないため、正しく定量するためには徹底した精度管理のもと、適切な処理を行っていく必要があります。工程がたくさんあるため操作がなかなか覚えられず、時間がかかっていましたが今では操作を覚え、スムーズに仕事をこなせるようになったことに成長を感じています。今ではより高い精度で効率よく業務をこなす方法を考えながら仕事をするのが楽しいです。

学生時代の学びを仕事に活かせています

今の仕事では実験器具を使用する作業が多く、高専で行った実験により培った経験等を活かせているなと感じています。また、実験をするのが好きだったので今はとても楽しく仕事できています。学生時代はダイオキシン類について触れる機会はありませんでしたが、聞いたことのある分析機器や化学式などを目にすると高専で学んだことを生かせる仕事に就けてよかったです。高専で多くの実験経験を積んだことで機器の使い方に困ることもないため、高専を卒業してよかったです。

テストや課題など大変だと思いますが、残りの学生生活を全力で楽しんでください！



八王子事業所 主任

堀 朋貴

機械工学科

平成 19 年卒業



〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 3 丁目 4 番 21 号

TEL 06-6543-0111

設計現場で活きる学生時代の学び

選択肢があるからこそ、やりたい事に出会えた

私は想いを形にする『設計』という仕事に憧れを抱き、幅広い分野に挑戦したいと考え、様々な設計を行う弊社へ入社しました。これまで自動車のドライブシャフトや下水処理施設の配管、産業機械の組立機などの設計業務に携わる中で技術者として経験を積んできました。

現在は感心を持った自動車分野で電気自動車の車外スピーカーの設計を担当しています。法規、通信、制御、音色、搭載など多岐にわたる要素を考慮しながら関係者と協力して開発を進めています。

未知の分野に携わる事も多く不安もありますが、それを自身の成長の機会と捉え、試行錯誤を重ねながら製品化に至る過程に大きなやりがいを感じています。

技術者としての成長を支える高専教育

今振り返ると、高専は体験を通じて深く学べる非常に恵まれた教育環境でした。工作機械や実験設備が整っており、座学と実習を組み合わせることで、理論と実践の両面から理解を深めることができました。また、ロボットの製作や調査発表などを通じて、課題に向き合いながら考える力や伝える力が自然と身についたと感じています。その経験は、設計現場での課題解決やプレゼンに活かされており、学生の皆さんには、この環境を最大限に活かし、日々の授業や実習に前向きに取り組んでほしいと思います。そこで得た経験は、社会に出てからも新しい課題に向き合う力となり、技術者として成長し続けるための確かな土台になります。



技術第一部
岩腰 祐磨
専攻科 環境システム工学専攻
令和5年度修了



〒916-0084 福井県鯖江市小泉町 26-6-4
TEL 0778-62-7700

インフラ設計は建設コンサル！

建設コンサルタントとは！

建設コンサルタントとは、道路や橋梁、河川などのインフラ設備の計画や設計、維持管理を行う仕事です。また、福井県内で災害が発生した場合には、災害業務に携わることもあります。

今年6月に河川災害が発生し、入社1年目にして災害業務を担当する機会をいただきました。最初は右も左もわからない状況で苦悩することもありましたが、先輩方の知恵や力をお借りし、業務を無事終えることができました。大変な業務でしたが、自分で作った図面が完成したときにはやりがいを感じました。そして復旧計画を検討していたときに新たな専門知識を身につけたことで、自分の成長を感じることができました。

後悔しない学生生活を！

学生時代を思い出すと「やっておけばよかった」と思うことが沢山あります。私の場合は、「RPGゲームのクリア」や「行ったことのない地域への旅行」です。社会人にはお金はあっても時間がありません！そのため学生の皆さんには、学生の間に沢山のことを経験して欲しいです。

また、自分の進路は早いうちから考えておくことが大切です。しかし、すぐ決める必要はありません。進路について悩んだ時間が長いほど、自分にとって後悔がない選択ができると思います。そして、進路が定まると、自分が「今」何をすればいいかを逆算し、行動に移すことができます。

少ししかない高専生活を有意義に、全力で楽しんでください！



極東興和株式会社

”橋”を架けることに”夢”を懸ける



大阪支店技術部 工事課

濱崎 亮羽

高知工業高等専門学校

ソーシャルデザイン工学科

2022年3月卒業



【本社住所】

〒732-0052 広島市東区光町2丁目6番31号

TEL 082-261-1207

現場全体でひとつのチームとなって

より良い構造物を作るために

私が初めて橋梁施工の現場で橋の一部分の管理を任せられたのは入社2年目のことでした。それまでは上司の指示で仕事を進めていたのに対し、自分の判断で作業の指示を出さなくてはなりません。協力会社との打ち合わせも私の責任です。もちろん失敗もしましたし、厳しい指摘もいただきました。それでも協力会社と一緒に橋を作り上げていくにあたり、どうすれば段取り良くスムーズに作業を行えるかを考え励みました。そして工事が無事に終わった際、協力会社の方から「あなたのおかげで、工事もうまくいった。よくやってくれた」という言葉をいただき、自分の仕事へのやりがいや達成感を改めて実感することができました。

考えを伝える力の重要性

私が社会人になって実感したことは、相手に考えを伝える力の重要性です。社会に出ると重要な場で自分の意見を述べる機会が増えてきます。そのような場で、相手に正しく考えを伝えられなければせっかく高専で学んだことも宝の持ち腐れです。わかりやすく考えを伝える方法として要点を押さえる、明確な根拠、抽象的な表現の回避等様々ありますが、それら全て日ごろから意識して活用しなければ身に着けることができません。そのため、学生のうちから会話や論文、レポート等の自分の意見を発信する場で考えを伝える方法を活用し、相手に伝える力を磨いておくことが重要です。そうすることで、いつでも相手に正しく自分の考えを伝える力が身につくのではないかと思います。



中四国支店 建築施工管理

平山 栄太

環境都市工学科

令和7年卒業



〒910-0006 福井県福井市中央2丁目6番8号

TEL 0776-21-2700

わからないからこそ成長できる—現場と高専での学び

「わからない」を無くせる環境

私は今年の8月から現場勤務となり、建築施工管理を担当しています。主な仕事は、職人さんが作業しやすい現場を作るための段取りや、施工状況の記録としての写真撮影です。

現場では、わからないことばかりです。施工手順はもちろん、最初は資材や道具の名前すら知りませんでした。しかし、その「わからない」を自分で調べることはもちろん、職人さんや先輩、上司に質問して必ず解消できます。怖いイメージを持たれがちな現場の方々ですが、そんなことはありません！質問をすれば、皆さん快く、そして丁寧に教えてくれます。私は「新入社員だからこそ、遠慮せず質問できる」という強みをいかし、毎日学び続けています。

社会人になってから気づく、高専での勉強の重要性

社会人1年目として現場に出てみて、「高専でもっと勉強しておけばよかった」と感じることが多くあります。図面を読む力や材料や資材の知識が足りず、先輩や職人さんの説明をすぐに理解できない場面もあります。そのたびに、学生の頃に学んだ内容の大切さを実感します。当時は授業の意味が分からず、ただ課題をこなすだけの日もありました。しかし今になって、その一つ一つが現場での判断力や説明力につながると分かりました。勉強はすぐに成果が見えませんが、必ず自分の力になります。10代から5年間、専門的な学習に集中できるのは高専生の特権です。ぜひ、この貴重な高専生活を有意義に過ごし、将来の自分の土台を築いてほしいです。



第1ビジネスソリューション事業部
システムエンジニア
芳賀 くるみ
釧路工業高等専門学校 情報工学科
令和6年卒業



〒108-6026
東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 25階～27階
TEL 03-5769-8011

学生時代の経験が、社会で輝く力になる

技術と成長を実感できるWEBサイト保守の仕事

私は第1ビジネスソリューション事業部で、人材募集サイトの保守業務を担当しています。主な仕事内容は、既存画面の改修や新規画面の実装、調査、問い合わせ対応などです。

ユーザーが直接操作するフロント部分だけでなく、裏側のサーバーやデータベースにも関わるため、幅広い知識が求められます。複雑な処理や理解が難しい仕様に直面することもありますが、チームメンバーの協力を得ながら課題を解決しています。新しい技術や知識を習得できる点はこの仕事の楽しさであり、自分の成長を実感できる瞬間もあります。

学びと経験を糧に、後悔しない学生生活を

私は高専で情報工学を専攻し、データベースやJava、HTMLなどのプログラミング言語を学びました。これらの知識は現在の業務に直結しており、現場でも大きく役立っています。特に基本情報技術者試験の学習で得た基礎知識は幅広い分野で応用できるため、在学中から取り組んでみるのもいいかと思います。

また、勉強も大切ですが、学生という限られた時間も大切にしていただければと思います。私自身、友人と過ごした放課後の思い出や学校での経験は社会人となった今も心の支えになっています。社会人になると夏休みのような長期休暇は取りにくくなります。もし少しでもやってみたいことがあるなら、迷わず挑戦してみてください。後悔しないよう、行動する勇気も大切です。



設計二部

栗田 昴大

福井工業大学 工学部 建築土木工学科

令和6年 卒業



〒917-0026 福井県小浜市多田 11-2-1

TEL 0770-56-2345

人々の暮らす街をつくる仕事

現在の仕事について

弊社は、建設コンサルタントとして、インフラに関する企画・計画・調査・設計・維持管理等、幅広い業務を行っており、私は主にCADを用いた設計業務を担当しています。また、現在は、河川に関する業務の一環として「土砂や洪水氾濫の調査」も行っています。

この業務では「豪雨の影響で土砂や泥水が氾濫し、インフラや家屋等に甚大な被害をもたらす恐れるある河川」を、専用のソフトで調査していきます。最初は、分からぬことが多く苦労をしましたが、先輩社員に教わりながら業務をこなしていく中で、特殊な業務で使用するソフトについての知識を身につけることができ、人々の生活に直接関わる仕事ができたことで、やりがいを感じています。

社会人となる高専生へ

学生の皆さんには、新しいことに挑戦する気持ちを大切にしてほしいと思います。私の学生時代の思い出は、ゼミの活動で講演会の手伝いに参加したことや、友人と資格勉強を頑張ったことです。私は、大学の授業で学んだCADが好きだったこともあり、学生時代に学んだ建築設計とは異なる土木設計という新しい分野でも、その経験を活かすことができました。最初は、分からぬこと、不安なこともありましたが、学生時代に学んだ知識や経験は、その後の人生でもきっと役に立つはずです。自分の進路を考える時は、一つの考え方とらわれず、今までとは違った新しい分野でも、自分の得意なことや、経験したことを探してみてください。



技術部 工程設計課

J・O

岐阜大学 工学部 機械工学科

平成 31 年卒業



〒520-3189 滋賀県湖南市石部緑台二丁目 1 番 1 号

TEL 0748-77-3110

塑性加工の設計に答えなんてない！探求心が大切！

現在担当している仕事は？

自動車部品の設計を行っています。主に担当しているのは、ステアリングと呼ばれる、車のハンドルとタイヤをつなぐ部分。当社は金属加工の塑性加工法の一種である、鍛造を扱っているのですが、入社した時点では鍛造について何も知らなくて。でも学んでいくうちに、金属って面白い。熱を加えるだけで、短時間で複雑な形状の部品が出来上がる鍛造って奥が深いと、思うようになっていきました。先輩がイチから教えてくれるので、最初は知識がなくとも全く問題なかったですね。

本当に入りたい！と思える会社に出会ってください！

機械工学科では主に炭素繊維について学んでいました。機械工学を学んだからには将来は自動車に携わりたい！という憧れがあったのも事実です。そういった中でいざ終活に突入し、『自動車に携われる。』『地元で働く。』『職場の雰囲気が良い。』大きく分けて、この 3 つの理由で入社を決めました。滋賀から福井高専に入学された方もご覧になられていると思います。地元にはこんな会社もあるんですよ？ネームバリューにとらわれることなく、本当に自分のやりたいこと。将来像を実現できる会社に出会ってください！



福井支店 技師

梅田 陽汰

環境都市工学科

令和7年卒業



〒918-8012 福井県福井市花堂北1丁目12番23号

TEL 0776-35-9534

自然災害から人や物を守り 社会に貢献する仕事！

土と水と緑の技術で社会に貢献

私の会社は、自然災害に関する設計コンサルタントを主に行ってています。土砂崩れや落石などの災害が起きた際に現地調査を行い、その結果を基に対策工を設計したり、老朽化施設の調査・設計を行うことが主な仕事となります。簡単に言うと、海岸や道路沿いにある、コンクリート製の擁壁や法枠、鋼製の落石防護柵などの防災施設を作るための調査・設計を行っています。

災害現場の中で現地調査を行い、被災状況を把握しながら対応策を練るという、頭と身体を同時に働かせることが大変かつやりがいのあるところです。私たちは、自然が職場となるため、自然が好きな人にとっては、楽しむことができる良い仕事だと思います。

社会人としての礎の形成

どんな仕事に就いても、高専で学んだ知識を実際の仕事において100%で使うことはないと思います。ですが、「聞いたことある！」レベルの内容は多く出てきます。この「聞いたことある！」と思える場面を増やせるかは学生時代に如何に熱心に勉強したか次第です。そして、勉強と同等に大切にしてほしいのは、コミュニケーション力の向上です。幸いにも高専には1~5学年の幅広い学生と多くの先生方がいます。学生のうちに、同級生・先輩・後輩・先生方等と多く接し、コミュニケーション力を高めることにより、社会人になった時に人脈の幅が広がると思います。

これから的人生の礎となる部分を形成する、充実した学校生活を送ってください!!

株式会社サイエンスクラフト



防災部 コンサルタント
清水 昭宏
電子情報工学科
平成 22 年卒



〒102-0085 東京都千代田区六番町 13-7 中島ビル 2 階
TEL 03-6272-4372

社会貢献と自己のアップデートが両立できる会社

社会貢献の実感が得られる仕事です

私はサイエンスクラフト東京事務所防災部で「防災コンサルタント」として働いています。「防災コンサルタント」を一言で表すとお客様の防災に関する課題を分析し、助言・指導を行い、問題解決に導く専門家です。

お客様の大半は、国、地方自治体で、一部を民間企業や研究機関が占めています。具体的には内閣府、気象庁、消防庁、広島県の防災研修の企画および運営支援、総務省の訓練等に携わっています。

実際に国等の公共性の高い業務に携わると重責を感じることもありますが、研修や訓練後のアンケートにおいて国や自治体の職員、住民の方から「研修が役に立った」、「良い訓練内容だった」といった回答をいただくことがあると、社会貢献できているという実感が得られます。

高専時代に学んだ知識や技術をアップデートする

防災分野で必要とされる知識は広範囲にわたり、かつ深いため、どのような知識・経験も役立てることが可能です。私が高専時代に学んだコンピュータやプログラミングの論理的考え方や知識、実験実習の場で学んだ知見等は、今の業務に大変役立っています。防災の世界では常に新たな課題が発生するため、高専時代に学んだ知識や技術を常にアップデートすることによって問題解決に役立てています。今後DXが一層進展しますので、ITを活用した問題解決にも挑戦していきます。

高専生の能力は、国や地方公共団体の職員、東京の「一流会社」の社員と比べても決して引けをとるものではないと、私は日々の業務を通じて感じています。高専で培われる専門的な知識や技術は、むしろ、現代社会では問題解決の基礎として不可欠のものです。その知識や技術をモノ作りだけではなく、社会の安全・安心に寄与できる防災分野にもぜひ活かして下さい。



制御システム部

竹谷 光世

電気電子工学科卒

平成31年卒



〒918-8014 福井県福井市花堂中1丁目16番45号

TEL 0776-36-3161

満足と感動を提供するモノづくり

設計から現場調整までをこなすやりがい

当社は制御盤・ソフトウェア・電気工事等の幅広い分野でのサービスを提供しています。私はその中でも盤設計の部門を担当しており、お客様とコミュニケーションを取り合い、希望に沿った製品を提供できるよう試行錯誤しながら業務に取り組んでいます。出荷した制御盤の現場調整作業・点検業務では、スピーディかつ正確性が求められます。最初は不安になりましたが、周りの先輩方が優しく丁寧にフォローしてくれた為、現場作業も滞りなくこなせるようになりました。

当社は設計・開発から現場調整までを一貫して行っている為、お客様の要望に細かく対応が出来ます。そのため、お客様との相互の信頼関係を築く必要があります。私はまだまだ試行錯誤しながらですが、お客様から感謝の言葉を貰える事もあり、それが仕事のやりがいとなっています。

経験は無駄にならない

高専を卒業し良かったと思うことは、学生時代から専門分野は勿論のこと、プログラミング、製図等、幅広い分野の勉強が出来たことです。何か新しい事を始めようとする時、何から学んで良いのか、どのように進めて良いのかが全く分りません。その点、様々な分野に触れておく事で、今後そのような心配が軽減され、最初の一歩を踏み出しやすくなると思います。実際には勉強してきた事が直接的に仕事に繋がる事は少ないと感じます。ですが、先生方から学んだこと、勉強してきた過程は絶対に無駄ではなく、その経験をどう今後に生かしていくかが大事だと思います。学生の皆さんには是非とも失敗を恐れず、何事にもチャレンジし、残り少ない学生生活を有意義に過ごして頂きたいです。



複合部材事業部

北口 哲也

専攻科 環境システム工学専攻

平成 18 年修了



〒918-8530 福井県福井市花堂中 2 丁目 15-1

TEL 0776-36-5800

高専で学んだことが仕事を進める基礎になる

顧客の要望にどう応えるか

当社は、100 年以上の歴史で培った繊維染色の加工技術をベースに、様々なフィールドで事業展開を図っている会社です。事業を通じて提供する繊維素材や製品は、一般衣料から産業資材に至るまで多岐に渡っており、様々な場面で使われています。その中で私は複合部材事業部で炭素繊維を使った製品の営業活動に携わっています。お客様の要望に対し、自社の技術がどのように役に立てるかを考え提案していくことが今の仕事です。

お客様の要望に応えるために新しい技術や製品を考えていくことでモノづくりに関わっています。新しい技術や製品に対して常に勉強していかなければならず大変な時もありますが、ちょっとした工夫やアイディアで今までにないモノができたときには喜びを感じ、またそれによってお客様に喜んでもらえた時にはとてもやりがいを感じます。

仕事の基礎は高専で

高専では実験を多く経験できることで、どのような結果になるか予測し、計画をたて、実行し、得られた結果に対して考察するという流れを自然と学べたように思います。仕事もこの流れであることが多く、仕事の進め方にとって役に立っています。また、接する方の多くは複合材料の専門家であるため、化学の基礎知識がないとスムーズに話が進まないこともあります。ここでも高専で学んだ知識が活かされているように思います。どのような仕事に就いたとしても必ず役に立つことを今学んでいふと思いますので、有意義な高専生活を送ってほしいと思います。



酒井化学工業株式会社



生産技術グループ

南後 桃羽

物質工学科

平成 30 年卒業



〒916-0088 福井県鯖江市川去町 32 字 2-1

TEL 0778-62-3700

社会に必要とされるものづくり

お客様とその先を意識して

弊社は生産から加工まで全工程を一貫して社内で行う、合成樹脂製品の総合メーカーです。例えば、通販で使用される包装材・緩衝材や、建築資材を生産しています。

グループ会社 2 工場の現場で生産に携わった後、現部署へ配属されました。1 年半経ち、自ら主体となる案件も増えました。現在は主に現場改善のフォローや要望装置の作製・追加、新製品のサンプル作製・生産ラインの検討を行っています。業務範囲が広くまだまだ慣れない足取りですが、周囲（先輩方や現場の方）の力添えもあり日々経験値を積んでいます。

4 年間の現場経験でお客様、ひいては社会に必要とされる製品を自ら生産したことが糧となり、日々「良い製品づくりの一部になろう」と仕事に取り組んでいます。

高専での経験は勉強以外も生きる

学生の頃、課題を早めに取り組もうと意識していたことが、特に大きな力になっています。早めに取り組む・終わらすことはどの業務にも共通した基本です。普段の生活では、高専だからこそ知り合えた個性的な方々により、知らなかった世界に触れて刺激を受ける日々でした。今でも会う方もいます。未知・未体験への抵抗が少ないので、そのような経験が生きているからだと感じています。最後になりますが、今の仲間と気軽に過ごせる時間は無二ですので大切にしてください。もちろん、社会に出てからも一緒に楽しんでほしいと思います。



坂川建設株式会社



建築部 主任
長谷川 裕紀
環境都市工学科
平成 27 年卒業

【当社施工 / 南越前町 道の駅 南えちぜん山海里】



〒910-8520 福井市宝永 3 丁目 3-24
TEL 0776-21-8500

人々の生活を創る仕事

後世に残るものづくり

弊社はトンネル・道路・橋梁・河川ダム等の土木工事や、公共施設・商業施設等の建築工事の仕事を行っています。私はこれまでに商業施設や病院、工場、耐震改修等の建築工事に携わってきました。主な業務内容としては施工管理業務全般（工程・品質・出来形・原価・安全）を行っています。

この仕事の魅力は、自分が携わった建物が街の一部として何十年も残り、人々が安心して豊かな生活を送るための社会づくりに貢献できることです。後々自分が携わった建物が人々に利用されているところを街で見かけると、社会の役に立っている実感を得られ自分の仕事をとても誇りに思います。

一つの建物を多くの作業員が協力し、長い月日をかけて造り上げていくことは苦労や失敗をすることも多いですが、完成したときの達成感はとても大きくやりがいを感じることができます。

高専生の皆様へ

現場での仕事は幅広い知識が必要で、覚えることもたくさんあります。高専での授業や実習で学んでいることが、実際に仕事をする上での基礎的な知識になることもたくさんあるので、決して無駄なことは無いと思います。仕事に早く慣れるためにも、知っている知識は少しでも多いほうがいいと思うので、将来のことを考えて勉強に励んでほしいです。また、建設業の仕事は発注者や職人等の人との関わりも多く、コミュニケーション力が大事になります。高専は 5 年制ということもありますので、いろいろな人と積極的に交流を持ち、楽しく有意義な学生生活を送ってください。



技術部 技術 1 課 主任
橋本 智治

機械工学科 平成 17 年卒業
福井大学工学部 知能システム工学科
平成 19 年卒業



〒910-0147 福井県福井市下森田町 3-5
TEL 0776-56-1122

達成感を感じるものづくり

社会人になってからも常に勉強

現在の仕事ではゴム製品の設計から金型設計、製造方法の設計、最終製品の品質規格の決定までを担当しており、自分の手がけた製品が実際に使われる瞬間に大きなやりがいを感じます。ゴムは特性が奥深く、高い専門性が求められ、社会人になってからのほうがより深く勉強をしたことを深く感じます。ゴム製品のより高い生産性と品質を両立させるために、日々、効率的な設計手法の試行錯誤にも取り組んでいます。製品開発の過程では、思い通りにいかず苦労することもありますが、課題を一つずつ解決して形にできたときの達成感は格別です。これからも、技術者として探究心を持ち続け、より良いゴム製品づくりに貢献していきたいと考えています。

製図の知識が活躍

学生時代の 5 年間、ドラフターを使った手書きでの製図を学んだ経験は、今でも大きく役立っていると感じます。現在は CAD を使った 2D・3D での設計が主流ですが、取引先との打ち合わせや現場での説明の際、とっさに手書きスケッチで形状や構造を伝える場面が多くあります。その際、学生時代に身につけた正確な線の引き方や図面の見やすさへの意識が生きています。基礎をしっかり学んだことが、今のゴム製品設計や図面作成の精度にもつながっていると実感しています。これから社会に出る高専生の皆さんには、目の前の学びを大切にし、どんな経験も将来の力になると信じて取り組んでほしいです。



鯖江精機株式会社



衛星プロジェクト

江指 光紀

機械工学科

令和2年度修了



〒916-0133 福井県丹生郡越前町気比庄 22-8

TEL 0778-34-8600

守ります「モノづくり」の心

宇宙産業を支える仕事

私の仕事は、超小型人工衛星の組立および各種試験です。要求される寸法精度を満たすよう、フレームや基板を調整しながら丁寧に機体を組み上げます。その後、宇宙環境を模擬した環境試験や電気試験などを実施します。超小型人工衛星は内部空間が狭く部品も小さいため、作業は常に極めて高い精度が求められます。特に試験で不具合が発見された際には、機体の半分以上を分解し再組立を行うこともあります。内部が狭い場所への配線作業など、緻密さと根気が求められる作業の連続です。

しかし、この困難を乗り越えて自らの手で衛星を完成させた時の達成感は格別です。自身が組み上げた機体が遙か宇宙でミッションを遂行する姿を想像すると、技術者として大きなやりがいを深く感じます。

仕事につながる知識

機械工学科で培う専門知識は、社会のものづくり現場において不可欠な基礎力です。設計、加工、組立の全てにおいて、図面を見る際や部品を扱う際に、材料の性質、強度、表面処理といった知識が欠かせません。これらの知識なしには、構造の強度予測や、部品の破損防止は困難です。また、現場で問題に直面した際、豊富な知識は迅速な原因究明と解決の糸口を与える確かな足がかりとなります。専門知識を深めることはもちろん、部活動や同好会活動にも積極的に取り組みましょう。そこで培う協調性や、コミュニケーション力は、現場で技術を最大限に活かすための土台となるからです。技術と人間力、両方を磨くことが将来のキャリアを築く鍵となります。



製造部 生産技術課

野尻 翠

電気電子工学科

令和 5 年卒業



〒916-0015 福井県鯖江市御幸町 1-2-82

TEL 0778-52-3440

伝統技術×先端技術で明るい未来に貢献！

自身の成長が会社の成長につながる

鯖江村田製作所製造部ではスマホや電子機器に搭載されている高周波用多極コネクタを製造しています。その中で私は生産設備の定期点検業務を担当しています。定期点検の仕事は直接モノづくりを行う仕事ではありませんが、設備の維持管理によって製品の品質と現場で作業する仲間の安全を守り、お客様に良い製品を安定して提供することに貢献しています。一口に定期点検と言っても様々な業務があり、新しい製品や設備の導入とともにチャレンジと学びの機会があるので自身が成長しやすい環境だと感じています。最近では私がトレーナーとして新人教育を担い、自身のステップアップと責任感を感じています。また、その中で教育している人が独り立ちしていく姿を見ることにやりがいと会社への貢献を実感しています。

学生時代と今

私は卒業研究でプログラムを用いたシステム制作に取り組みました。繊維メーカーと产学連携で在庫管理システムを構築することが目標でしたが、大変苦労した思い出があります。企業訪問してのニーズ調査や仕様調整、既存システムとの差別化要素の検討など、ゴールを定めることに時間をかけ過ぎてしまい、具体化の為の調査や作業の時間が十分とれず、思い描いていたようなシステムを作ることができなかったのです。この経験からモノづくりにおけるコミュニケーションの重要さ、行程全体を見通した計画管理の重要さを学ぶことができました。これらの教訓は私の中の基本スタンスとして仕事に活かされています。学生時代の学びや経験は皆さんのが困った時の支えになる大切なものです。色々なことにチャレンジしてスキルを磨き、将来に備えていってもらえたたらと思います。



品質技術部 品質技術課
下野 俊明
福井大学 工学部 情報メディア工学科
平成 19 年卒業



〒910-0802 福井県越前市北府 4 丁目 6-30
TEL 0778-22-7335

みんなが納得のいくモノづくりを目指して

モノづくりの在り方を考えるお仕事

当社は電子回路基板の製造をコア技術としており、私の在籍する武生工場ではその電子回路基板を基に、質量分析装置や蛍光 X 線分析装置などの科学計測機器を製造しています。

その中で私は品質技術部で働いており、作業指導表や、治具・プログラムなど生産性向上の改善ツールの製作を行っています。作業指導表は、現場で働く作業者の方にとっての作業手順を示したマニュアルになりますので、自分の仕事の品質が、製品そのものの品質、更には作業効率の善し悪しに直結することになります。作業者の方は、一生懸命にモノづくりに励んで下さっていますので、自身の仕事に責任を感じると同時に、やりがいにもなっています。

「自分がやりたいこと」を大切に

私は「モノづくり」が大好きで、今の会社を選びました。そして今、とても充実した社会人生活を送ることができます。就職活動では、様々な業界・会社・職種など、たくさんの情報に触れることになり、情報が多い分、自分が何をしたら良いのか分からなくなり、不安になることもあるかと思います。そのような悩みを乗り越える為にも、「自分がやりたいこと」を突き詰めることが大切です。自分自身を振り返り、何を大切にしていきたいか、ぶれない軸を持って就職活動を進めて頂ければ、良い出会いに巡り会うことができると思います。



管理部 管理2課 係長
宮川 裕行
電気電子工学科
平成 17 年卒業



〒916-0019 福井県鯖江市丸山町 3-5-25
TEL 0778-52-1311

自分が成長できる職場

昨日の自分よりも一歩前へ

当社はメガネレンズを製造販売しています。私はその中で配送・包装作業を行っています。製造販売の中で最後の行程となるため、お客様に一番近い仕事になります。だからこそ、一つのミスがダイレクトにお客様へご迷惑がかかってしまうため、日々どうしたらミスがなくせるか、どうしたらもっと効率よくできるかとチームメンバー全員で日々考えながら改善を行っています。結果それがお客様に感謝されることに繋がり、やりがいにもなります。そのためにも「ほんの一歩でもいいから昨日の自分より成長する」ことを念頭に置きながら仕事をしています。

何を学んできたより、自分の強みを見つけること

私は高校から高専4年に編入したため、当初クラスメイトとの学力レベルの差にとてもコンプレックスを持っていました。高校では資格試験中心の学習をしていたため、高専の学力には程遠かったのですが、資格の取得数、実技能力、学習内容が社会でどのように扱われているのか理解できたことは他のクラスメイトに負けない自身がありました。高専生活の中でこのことに気が付くことができ、「自分の強みはこれだ、これを伸ばしていこう」と思えるようになりました。それからは自分で目標を立て、就職してからも計画的に資格取得に挑戦し、スキルアップを目指しています。また昨今社会人のリスキリングが話題になっていますが、まさに現代を生きる中で自己の成長は必要になってきています。そうした中でいかに早く自分の強みを見つけ、成長することでより強みを伸ばそうという気持ちになり、それがモチベーションとなって仕事やプライベートでも自分を成長させる糧となってくれるはずです。



設計部 土木設計業務担当
安川 大渡
環境システム工学専攻
令和3年卒業



〒918-8525 福井県福井市花堂北1丁目7番25号
TEL 0776-36-2790(代表)

設計は苦労も多いが、その分楽しさも感じられる

一人前の技術者を目指す

入社以来、設計部に所属し一般土木設計業務に携わっており、本年で5年目を迎えます。担当してきた業務は「道路設計」「法面設計」「落石対策設計」「災害復旧」など多岐にわたります。

土木設計とは一言でいえば、河川や道路などの土木構造物について、発注者の要望を満たす施設を計画・検討し、工事に必要な設計資料を作成することです。具体的には、設計図面の作成、構造計算、発注者との打合せ、報告書の作成などを行っています。

業務は細かく複雑な内容も多く、苦労することもありますが、その中で自らの成長を実感でき、大きなやりがいにつながっています。また、一人前の技術者を目指す上で日々の勉強は欠かせず大変さもありますが、仕事に飽きを感じることはなく、充実した毎日を過ごしています。

高専時代の学びを活かせる

入社してすぐに、高専時代に学んだことが実際の仕事に直結していると実感しました。高専では幅広い分野にわたって基礎を学ぶことができ、その知識は日々の業務に大変役立っています。一方で、「もっと集中して授業を受けていれば良かった」と感じる場面もあり、学生時代の学びの大切さをあらためて思い知らされました。皆さんには、日々の授業からできるだけ多くを吸収し、将来の仕事に活かしてほしいと思います。また、高専在学中に取得できる資格もありますので、積極的にチャレンジすることをお勧めします。

塩野フィネス株式会社



開発部第二研究室

市橋 実和

専攻科 環境システム工学専攻
令和 6 年修了



〒913-0036 福井県坂井市三国町米納津 49 字浜割 156 番 1

TEL 0778-81-7555

経験の積み重ねが自信を育てる

人々の健康を支える、責任とやりがいのある仕事

当社は医薬品原薬・中間体の研究開発・製造を行っており、手がけた製品が医薬品として人々の健康を支えていることにやりがいを感じながら日々の業務に取り組んでいます。入社以来、開発部に所属し、製造プロセスの研究開発に携わっています。フラスコで起こる現象をプラントの反応缶でも再現するため、様々な実験データを取得し、品質・コスト・安全性を重視した製造プロセスを構築しています。研究開発を進める中で問題に直面することも多々ありますが、原因を調査・考察し、研究員同士でディスカッションを重ねながら解決しています。自分の考えた製法が想定通りの効果を発揮した際には、大きな達成感と充実感を得ることができます。責任のある仕事ですが、自分の知識や技術が社会に貢献していることを実感できる非常に意義のある仕事です。

学生時代の経験が、社会人としての土台になる

卒業研究では約 4 年間、有機光化学の研究に取り組みました。現在の業務では主に有機合成の知識を活用しており、学生時代の専攻分野とは異なる部分もありますが、データの見方や基礎的な考え方は共通しており、学生時代の経験が今の仕事の土台になっています。また、Word や Excel、一般科目で培った化学以外のスキルも、社会人になった今でも非常に役立っています。高専では専門知識だけでなく、幅広い分野に触れる機会が多くあります。そうしたチャンスに積極的に挑戦し、様々な経験を積むことで、必ずどこかで自分の力になります。将来に関係ないと思わず、ぜひ様々なことに挑戦してください。



開発部
鈴木 智也
電子情報工学科
令和4年3月卒業

(福井大学 電気電子情報工学科 令和6年3月卒業)



〒916-0036 福井県鯖江市横越町 10-34-1
TEL 03-6824-9561

利用者に最も近いソフトウェアを。

”みんな”が使いやすいサービスを目指して

jig.jp は、主に一般ユーザー向けのアプリケーションの企画・開発を行っています。私は入社2年目で、ライブ配信サービスのウェブ開発を担当しています。

ウェブ開発では、自分の変更が直接ユーザーに影響するため、不具合が起きないよう慎重に作業を進める必要があります。新機能や改善が無事にユーザーに届けられたときには、大きなやりがいを感じます。

また、日々の開発を行う中で、ユーザーの使いやすさを常に意識しています。たとえば、視覚に障害がある方のために、キーボードだけで操作できるように対応を進めています。このような改善を提案した際に、すぐにチームで検討し、実装に移せる点は、弊社の大きな強みだと感じています。

これからも”みんな”が使いやすいサービスを目指して励んでいきたいと思います。

プログラミングは目的ではなく手段

私は高専時代、ロボット部に所属しており、プログラム班として高専ロボコンに出場するロボットの制御を担当していました。ロボット部で感じたことは、プログラミングは目的ではなく手段であるということです。目的を達成するためには、プログラムの改良だけでなく、場合によってはマイコンやプログラミング言語の変更が必要になることもあります。結果として、さまざまな技術に触れたことで、自分のプログラミングスキルが向上したと感じています。学校の授業やテストでは、どうしてもプログラミングが目的になりがちですが、ぜひ皆さんにはプログラミングを手段として利用し、その先にある「モノづくり」を目的にして日々を過ごしていただきたいと思います。



設計部
橋本 恵
環境都市工学科
令和 6 年卒業



〒910-0001 福井県福井市大願寺 2 丁目 5 番 18 号
TEL 0776-23-7155

地域のインフラを整備する仕事

今の仕事について

弊社は、建設コンサルタントとして、インフラの調査・設計を行っています。私は設計部の中でも、主に河川の設計を担当するグループに所属しています。河川関係の仕事として、河川構造物の設計、護岸の設計、護岸の点検、流下能力の調査などを行なっています。今は、上司からの指示で仕事しています。今までしたことがない仕事を覚えることに苦労をしています。しかし、過去の事例を調べて、事例をもとに考えることが楽しく、徐々に自分の成長につながっていると感じています。今後も仕事を頑張り、会社に貢献することができるようなることが目標です。

高専生へのメッセージ

高専で学んだもので現在の仕事に活かすことができるものとして、私にとっては河川に関係している粗度係数や降雨強度などの基礎の部分が役に立っています。高専で基礎についてじっくりと学ぶことができたため、仕事をしているときにも基礎について悩むことが少なく、応用について考える時間を増やすことができています。

また、測量の仕事を手伝うときなどほかの部署の手伝いを行う際にも基礎を学んでいたため、スムーズに手伝いを行うことができました。これらのことから、高専では基礎的な知識をしっかりと学んでおくことが重要だと思います。



製造部 第1生産課

磯口 大亮

専攻科 生産システム工学専攻

平成31年修了



〒520-2152 滋賀県大津市月輪1-8-1

TEL 077-545-3250

常に新しい価値を創造して、社会に貢献する

生産課の仕事・やりがいって？

当社では多種の製品を販売しており、私は液送ポンプの部品調達に携わっています。担当製品は基本的にお客様のご要望に合わせたオーダーメイド品のため、都度異なるものを作っています。その中でご注文毎に「どうすれば安く/早く/良い物ができるか」を考えながら、製品に必要な部品を調達するのが主業務です。ご要望の中には、簡単には達成できないものも多々あります。そのような案件でコスト/納期ともにご要望通りに納めることができたときに大きな達成感を感じます。

また協力会社さんに加工を依頼することが多々あります。そのため社内だけではなく、社外の方とも沢山関わりながら仕事をしており、「チームワーク・人との繋がり」を強く感じることができ、非常に楽しいポイントだと思います。オーダーメイド品ならではの難しさも沢山ありますが、みんなで色々考えて、形になったときの達成感や嬉しさは凄いです。

読んでくれた学生さんへ～

学生時代に学んだことは仕事に活かされますので、「未来のためにいっぱい勉強してください！」は伝えたいことの1つです。ただ、それと同じくらい友人と沢山遊ぶことも大切だと感じます。仕事はやりがい/楽しいことも沢山ありますが、どうしても辛いこともあります。そんな時に気軽に話せる友人や、息抜きになる趣味を見つけておくことは勉強と同じくらい大切です。ですから、いっぱい勉強して、いっぱい遊んで、密度の濃い学生生活を送っていただけたら幸いです！

島津製作所グループ 島津プレシジョンテクノロジー株式会社



生産技術部

増田 皓介

機械工学科

令和3年卒業



〒520-2152 滋賀県大津市月輪1丁目8番1号

TEL 077-547-3666

評価されたと感じる瞬間をやりがいに

先輩からのサポートがある中で積極的に働く

ターボ分子ポンプという真空ポンプに組み込むロータという部品の加工に携わっています。私の仕事は、ロータを加工するための工作機械や自動化設備の導入・立上げ、加工工程の試作です。工場で働く機会が多く現場の困りごとを聞くことが多いです。そのため、普段の業務では現場の声を反映して働くよう心がけています。

特に、自動化設備の立上げでは入社してすぐメンバー入りしたプロジェクトで「実際に現場で設備を使うときに必要なことは何か」ということを一番に考えて取り組みました。最終的には現場の人から信頼してもらうことができ、島津製作所本社から自動化の取り組みを表彰されることになりました。経験が浅い中でも積極的にプロジェクトに関わり、経験を積める職場で働いています。

高専で学んだ知識を活かしながら日々が勉強

入社して間もないころは、製図で学んだ図面の知識、材料力学や流れ学の力学の知識が役に立つていていました。高専で学んだ知識を活かし、製品の形状や必要な精度、製品の原理についてスムーズに理解できました。また、最近ではデータの活用や現象を分析することに力を入れて仕事を進めています。原因を見極めて対策していくためにも、データの活用、分析は必要です。さらなるスキルアップを目指して仕事に取り組んでいます。学生時代に身につける知識・勉強する習慣は皆さんが就職してからも必ず役に立つと思います。遊び、勉強…と忙しいと思いますが、頑張ってください。



株式会社 清水組



代表取締役
清水 道浩

福井工業高等専門学校 土木工学科
第 21 期卒業



〒916-0014 福井県鯖江市鳥羽町 22-52
TEL 0778-52-1970

「チャレンジ」それがすべての始まりです！

物事は思いのままに形作られる信じています

清水組は、創業 65 年になり、現在私は 3 代目社長として、社会に貢献するインフラ整備・老朽化対策に情熱を傾けています。私たちは、日々変化する現場で最新技術を駆使し、50 年 100 年先も残る価値あるプロジェクトに取り組んでいます。

会社の成長のため、問題を発見するたびに改善し、大変なこともありますが、良い結果もそうでないものも、私たちの考え方次第です。明るく前向きな姿勢で行動するスタッフたちが、その証です。

これからも新たな成長の一歩を踏み出すため、毎日がチャレンジです！

自主性を身に付け、人脈を大切に！

学生時代の卒研は橋梁の設計を学ばせてもらいました。30 年の時が経ち、近年は橋梁などの老朽化対策が行われています。授業で皆さんも様々なことを学んでいると思います。その学びは皆さんにとっての財産になり、社会に出た時に必ず役に立ちます。

また、自分の学生時代は進級するのに精一杯でした。他の学校と違って進級には厳しい基準がある中、自主性が身に付いたと思います。そして何より先輩や同級生、下級生とのつながりには、今でも本当に数多く支えられています。

最後になりますが、やりがいのある企業を目指し、休日・給与・希望を大切にして、社会に貢献出来るよう一緒に頑張りましょう。やる時はやる！高専生なら必ず出来ます！

株式会社 シャルマン



生産技術部 生産技術課 治具開発

明頓 耕平

専攻科 生産システム工学専攻

平成 28 年修了



本社/工場 〒916-8555 福井県鯖江市川去町 6-1

TEL 0778-52-4141

ものづくりに携わって、

メガネを組み立てる治具設計

私は製品の金型設計を経験し、今は治具開発部に所属しておりメガネ部品を接合する治具設計業務に携わっております。治具の設計は、ある程度フォーマットが決まっていますが、部品形状や材質によって少しずつアプローチを変化させる必要があります。例を挙げますと、磨き工程を接合する前に入れたいと考えた場合、製品のキズは除去できますが製品幅が細くなり、治具への収まりが悪くなります。製品の状況を読みつつ安定した品質の治具製作が求められます。まだまだ日々勉強中の身ではありますが、治具の設定通りに接合できた時にはとてもやりがいを感じます。

人とのつながりが力に

これから社会人になる高専生へのメッセージは、『他人はひらめきの宝庫』です。私は学生時代にロボット部に所属しており、他学科のメンバーとどの方向性でロボットを作るのか?という切り口での交流を経験することが出来ました。学科や学年が違うと、ものづくりへのアプローチも変化していきます。新しいアプローチは、時に凝り固った考えをほぐしてくれるので、いろいろな人に意見を聞くことで、視野が広がると感じました。仕事をしている今でも、先輩や同僚、時には後輩の意見でも、自分では思いつかないアイデアが数多くあります。ものづくりの目線を変化させるためにも、他人に相談してアドバイスをもらうことが、地道ですがゆくゆくは自分の力になるのではないかと思います。

■補修工学[®]——構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

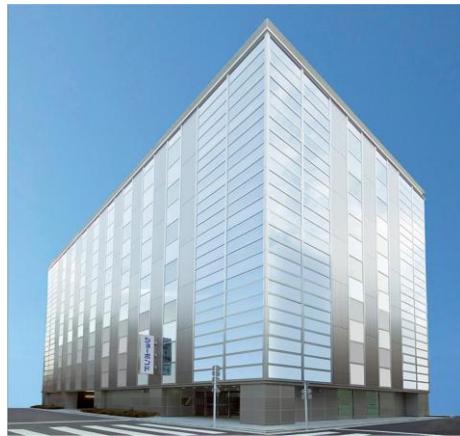


首都圏北陸支社 千葉支店

小笠原 雅之

環境都市工学科

平成 19 年卒業



〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7 番 8 号

TEL 03-6861-8101 本社ビル

タイトル

現場監督の魅力と大変さ

当社は橋のメンテナンスに特化した建設会社です。私は現場監督として、国や地方自治体、高速道路会社などから発注される補修・補強工事に携わっています。私の仕事（現場監督）は実際に手を動かすのではなく、工事の段取りや安全・品質・工程の管理が主な仕事です。計画通りに現場を運営する難しさと、完成したときの達成感は格別です。補修された橋が人々の生活を支える姿を見ると、社会に貢献している実感と誇りを強く感じる事ができます。責任は大きいですが、社会インフラを守る、やりがいのある仕事だと思っています。

卒研で培った力

高専時代の卒業研究では、仲間と頭をひねりながら課題に取り組みました。夏休みも返上し、「終わるのか…？」という不安と、最後のプレゼンがうまくいった時の「やり切った！」という達成感は、今の現場監督の仕事にそっくりです。工事の計画から現場管理まで、チームで動く力と粘り強さが今も活きています。これから社会に出る皆さん、失敗を恐れず、まずはやってみること。橋も人生も、補修しながら前に進めばいいんです。自分の手で社会を支える仕事、なかなかカッコいいですよ。



信越化学工業株式会社武生工場

第一製造部

大久保 元晴

物質工学科 平成 28 年卒業



〒915-8515 福井県越前市北府 2-1-5

TEL 0778-21-8100

レアアース、マグネット、シリコーン、扱っている製品は多種多様

製造工程は長い

私が所属している第一製造部では、主にレアアースの製造を行っています。レアアースと言っても学生の皆さんにはランタノイド族、という言葉の方が聞き馴染みがあるかもしれません。ランタノイド族の 15 元素＋スカンジウム、イットリウムを含めた計 17 元素の総称がレアアースです。

第一製造部ではレアアースの分離精製から、晶析ろ過、焼成、梱包出荷まで一連の業務を担っており、1 つの製品が仕上がるまでの工程はとても長いです。この長い工程の中で、顧客のニーズにあった品質の製品を、納期通りに生産し続けることは決して簡単なことではありません。時には苦労する場面にも直面しますが、その半面やりがいも感じられます。また、弊社で製造した製品が素材となり、出荷先で新たな製品に生まれ変わっていくことを思うと、非常に感慨深いです。

学生時代の経験が生きるときが必ず来る

弊社全体で見れば、レアアース以外にも多様な製品を製造しており、仮にどこの部署に配属されたとしても、高専で身に付けた知識・経験は必ずどこかで活躍すると確信しています。現役高専生の皆さんの中には、専門的な知識を学んでいるが故に、「こんなこと、今後役に立つかな…？」と、ふと疑問に感じてしまう人もいるかもしれません。高専で経験したこと、学んだことは必ずどこかで役に立ちます。あの時やつといて良かったと思える日が必ず来ます。今やっていることに自信を持って、残りの高専生活に励んでもらえたらと思います。



産業資材事業 生産部

平野 匡兼

機械工学科

令和 5 年卒業



〒919-0602 福井県あわら市菅野 60-8-1

TEL 0776-73-1341

あらゆる知識が幅広い仕事に役立つ

作業の幅は広い

私は現在、産業資材事業生産部に所属しており、生産用機械設備の調整・稼働が主業務になります。工場勤務で入社した当初、毎日稼働作業を行っており、稼働している機械と生産される製品の種類が多いため作業も幅広く大変でしたが、時間と共に慣れてきて今では機械の整備・メンテナンスなども任されています。機械調整は経験と知識が必要な難易度が高い作業なため身に着けるには時間がかかりますが、しかしその分少しづつ色んな機械で作業が出来るようになるのが楽しく、最終的に自分が調整を行った機械で思い通りの製品が出来ていることにやりがいを感じ達成感もあります。

高専での経験は活かせるものばかり

私は機械工学科に所属していましたが、多くの知識が工場勤務に役立っています。特に機械工作実習で学習した安全意識と機械取扱いは、作業内容の理解と安全作業がスムーズに行う助けになります。他にも電気科で学べる専門知識は機械調整に活かせると感じていますし、高専で学ぶ専門知識には役立つものが多いと思います。一方、高専で学習したレポート作成や実験のような、一見関係があまりなさそうな経験と知識が製品の性質理解や書類作成など現在の業務で役に立つことがあります。「この知識はあまり役立ちそうにない」と感じても、そういった知識が仕事において意外に通用することもあるので学生の皆さんには、自分が必要と思ったこと以外のことも幅広く勉強して欲しいです。



生産本部 福井事業所

品質管理課

前田 凪

物質工学科

令和7年卒



〒910-3137 福井県福井市石橋町 29-75-1

TEL 0776-85-1150

就職後に気づいたこと

楽しく、やりがいのある仕事

私が所属する品質管理課では、主に原料や製品の分析を行っています。この仕事は、自分の出した結果によって、現場の方々が動いたり、製品の合否が決まったりする責任のある仕事です。プレッシャーを感じることもありますが、問題なく生産を終えた時には達成感・やりがいを得ることができます。また、「分析」と聞くと難しそうなイメージがあるかもしれません、実際は、高専で行った実験の延長線のようなもので、すでに使ったことのある器具などをよく使う為、取り組みやすい仕事内容になっています。

これから社会人になる皆様へ

学生の間に勉強した事で、特に仕事に役立っていると感じるのは、レポート作成の仕方やExcelの基礎などのデータ処理全般の知識です。高専生である以上、実験→レポートの流れは避けられないと思いますが、面倒に思わず、前向きに頑張ってください。

また、学生の間にできた友人や思い出は、社会に出てからも大きな支えになってくれます。勉強も大事ではありますが、友人との楽しい思い出をいっぱいいくつって、残りの学生生活に悔いが残らないよう、今しかできないことに挑戦してみてください。



越前営業所
黒田 勇気
環境都市工学科
令和 5 年卒業



〒915-0242 福井県越前市粟田部町 6-26
TEL 0778-43-1133

自然とくらしを技術でつなぐ

仕事について

私は越前営業所に在籍しており、国や県から発注された公共工事現場の管理を担当しています。現在はまだ単独で現場を持つことができないため、先輩の指導を受けながら業務に取り組んでいます。

主な仕事内容は、構造物等を完成させるための施工計画を立て、現場での作業を円滑に推進することです。しかし、工事はすべてが計画通りに進むわけではないため、作業の進捗状況と計画を常に照合し、柔軟に修正を行なながら工事を進めています。現場では、年上の方々に作業指示を出さなければならない場面もあり、まだ慣れない点もありますが、日々精進しています。

様々な困難や苦労はありますが、多くの人々の力が結集し、構造物が完成した時の喜びは非常に大きく、この仕事に大きなやりがいを感じています。

高専生の皆様へ

私の学生時代の最大の学びは、多様な意見をまとめ、目標を達成する難しさと面白さです。例えば、サークル活動で企画を成功させる際、異なる考え方を持つメンバー間の対立を調整し、全員が納得できる計画へと修正を重ねました。これは、現在の公共工事の現場管理と共通しています。現場では、多岐にわたる専門業者の方々や年上の職人さんたちの意見を聞き、全体の進捗に合わせて計画を柔軟に修正し、作業を円滑に進めています。これから社会に出る皆さんに伝えたいのは、学生時代に身につけたコミュニケーション能力と調整力は、必ず仕事に活きるということです。専門知識は入社後に学べますが、人と協働する力は何にも代えがたい財産です。様々な人の出会いを大切に、失敗を恐れず挑戦してください。



構造整備部
堀川 明日風
機械工学科
2021 年卒業



〒144-0041 東京都大田区羽田空港 3-5-4
TEL 03-6700-2310

高専での学びを力に、空の安全を支える

業務内容と仕事の達成感

私は羽田空港の格納庫で航空機に取り付けられている装備品の整備をおこなっています。具体的な装備品の代表例として、スラストリバーサー(逆推力装置)や航空機の先端に取り付いているレドーム等がありこれらの装備品を取り扱っています。航空機は様々な環境で飛行するため、ライトニングストライク(被雷)や、バードストライク(鳥衝突)等の不具合が発生するので安全に飛行するためにも整備は航空機に欠かせません。

普段の作業内容としては損傷のあった箇所に、自ら製作した修理材(パッチやタブラー)を取り付ける作業や、塗装作業があります。

航空機の知識がほとんど無かった私は、航空機のシステムや整備作業で使用する用語を覚えることに苦労しましたが、自分が整備をおこなった装備品が航空機に取り付けられて飛んだ際にはとてもやりがいを感じます。

高専時代の活動、学びを活かす

学生時代は機械工学科に在籍し、部活はバスケットボール部に所属していました。また、学生会や高専祭の実行委員会等の課外活動にも積極的に参加していました。私はこれらの活動を通して、多くの人とコミュニケーションを取り目標を達成するために考えて動く力を身に着ける事ができたと思っています。私の職場では、複数人で作業を行うことが多いため、課外活動で養った力と高専で学んだ知識は整備作業にとても役に立っています。高専は、5年間を通して専門分野を学ぶため将来の選択肢を大きく広げることができる素晴らしい場所だと思いますので、インターンシップ等の企業を知る機会と日々の学生生活を大切にして自分の得意な分野、やってみたい分野にぜひ挑戦してみてください。



大鉄工業株式会社

【JR 西日本グループ】



南部 嵩治

環境都市工学科

令和 3 年卒業



〒532-8532 大阪府大阪市淀川区西中島 3-9-15 (本社)

TEL 06-6195-6105

現場を支える“縁の下の力持ち”として

工事全体を動かす責任とやりがい

現在は本来の現場での工事監督業務から離れ、約 80 人規模の協力会社に出向しています。社員の管理や工事計画の打合せ、見積もり作成などを担当し、工事全体を動かす立場として日々業務にあたっています。

自分が組んだ工程をもとに工事が進んでいくため、責任は非常に重く、人工の調整や誰を責任者に配置するかといった判断も求められます。大変なことも多いですが、特に大規模工事が無事に竣工したときには大きな達成感があります。自分の計画したものが形になることに、仕事のやりがいを感じます。

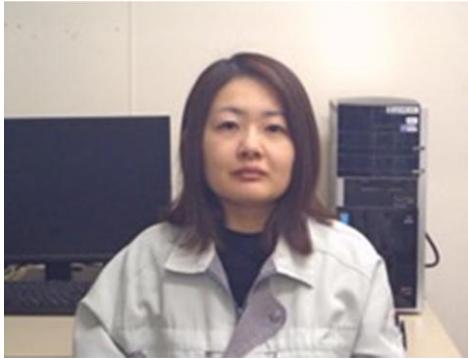
高専で学んだ基礎が今も活きる

鉄道の保守がメインの仕事と思われがちですが、実際には土木や建築の工事も多く、高専で学んだ知識は確実に活きてきます。特に測量の知識は鉄道保守工事にも必要不可欠で、実習で行ったレベル測量が現場で役立ったのは今でも良い思い出です。

仕事では失敗できない場面もありますが、だからこそ準備が何より大切です。学生時代のうちはたくさん挑戦し、失敗を恐れず経験を積んでください。その積み重ねが、社会に出てからの大いなる力になると思います。



タイヨー電子株式会社



生産技術部
橋本 明希
電気電子工学科
平成 22 年卒業



〒916-0061 福井県鯖江市平井町 20-3
TEL 0778-62-4545

製品加工の達成感とやりがい

試行錯誤の連続

弊社では、電子部品の製造や自社製品の開発を行っております。その中で私は工場で使用する設備や自社製品の製作に携わっています。具体的には、CAM というソフトを使って CAD データを元に工作機械を操作するための加工プログラムを作っています。実際に加工してみるとシミュレーション通りのものができあがらないこともあります、そのたびに皆で話し合い、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいます。思い通りの製品ができあがったときには達成感とやりがいを感じます。

高専で学んだこと

私が携わっている業務は高専での専攻に直接関係するものではありません。しかし、実験や卒業研究に取り組む手法は仕事を進めしていくうえで役に立っています。CAD データを扱うので、製図を学んだことも役に立っていると感じます。講義を受けていたころは自分の仕事に活かすようになるとは思ってもみませんでした。学んでいく中で「これが役に立つかな」と不安に思うこともあるかもしれませんのが、高専で学んだことは将来いろんな場面でみなさんを助けてくれると思います。

学生のうちは自由になる時間がたくさんあります。勉強だけでなく、アルバイトをしたり、旅行へ行ったりといろいろなことを経験して充実した学生生活を過ごしてください。



株式会社 高野組



土木部・係長

坂谷 収

環境都市工学科

平成 17 年卒業



〒915-0883 福井県越前市新町 8 号 1 番地

TEL 0778-24-3600

人に誇れるしごとを

日本を守るものづくり

私は(株)高野組という建設会社に勤めており、土木工事の現場監督として県内の公共工事に携わっています。主に土木工事は高速道路やトンネル、橋、鉄道、ダムなど人々の生活や経済になくてはならない社会インフラの整備と、地震や台風等の自然災害から人々の暮らしと命を守る仕事です。

近年、私が携わった工事は主に法面の防災工事で、落石や地滑り等が発生しないように未然に災害の発生を防ぐ工事を行っています。自分が工事のトップに立ち、人々の暮らしと命を守るための工事をしていると思うと、やりがいを感じます。

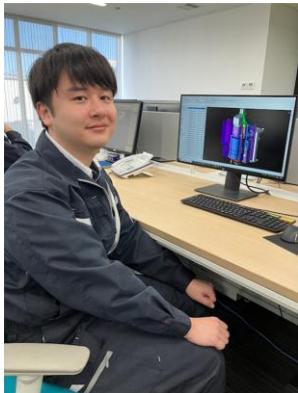
まさにこの仕事は日本を守るものづくりだと思います。

一生感動

私の学生時代の思い出は、本科 4 年生時の体育祭での応援です。本番 2 ヶ月前から練習を始め、毎日夜遅くまでやり大変でした。しかし、優勝したときの感動は今でも色褪せない思い出です。

この感動が土木工事の仕事に似ており、みんなで工事を施工し、困難を乗り越えてかたちになった瞬間と同じです。そう思うと私は、この感動がたまらなくてこの仕事を続けているのかなと思います。

これから社会人として羽ばたく高専生へ、人と人が繋がり、共に悩み、共に考え、共に努力し、カタチになる感動を一緒に感じませんか。人に誇れるしごとを共にしませんか。



設計部
杉本 章悟
神戸大学 工学部 機械工学科
令和3年卒業



〒918-8188 福井県福井市三尾野町 1-1-1
TEL 0776-33-0043

工作機械メーカーの魅力

ものづくりを支える工作機械

弊社は、主に金属材料を加工する工作機械の製作を行っています。工作機械は日常的に目にすることはありませんが、金属を扱う工場などに設置されていて、材料の表面を切削してきれいな面に仕上げたり、穴を開けてネジ山を切ったりするのに用いられています。皆さんが普段使用している製品の中にも、工作機械で加工して作られているものも多くあり、工作機械がものづくりを支えていると言っても過言ではないと私は思います。

私は昨年から設計部に所属し、工作機械の設計を行っています。最初の方は先輩が構想した部品を図面化するという業務が主でしたが、だんだん簡単な構想もさせてもらえるようになってきました。まだまだ覚えることばかりですが、日々精進して仕事に取り組んでいます。

質問することの大切さ

学生時代、私は材料力学や機械力学などを、主に座学で学ぶことが多かったです。その経験が設計時の強度計算などに役立っています。しかし、仕事をするうえでより大切なことは、わからないことは積極的に質問し 不明な点は残してはいけないという事でした。私は卒業研究時に、こんなこと聞いてもいいのかな、今は忙しいかなと担当教諭に気を使いすぎてあまり質問せずに研究を進め、後になって大変苦労をする経験をしました。その反省を生かして、今はわからないことは積極的に質問し、疑問を持ったまま仕事はしないように努めています。学生の皆さん、自分で調べることは勿論大事ですが、友達や先生に意見をぶつけ、相談しながら物事を進めていくことで、意外な発見、発想が浮かぶこともありますので試してみては如何かなと思います。



技術部 受託加工課

小河原 輝

物質工学科

令和7年卒業



〒915-0857 福井県越前市四郎丸町 21-2-1

TEL 0778-24-3666

独自の加工技術で多様な材料に挑む

成長の中で感じるやりがい

私が所属している受託加工課では、独自の加工技術を駆使し、お客様から依頼された複雑な材料の加工を行っています。お客様からご依頼いただく材料は特殊なものが多く、金属に関する幅広い知識とその応用力が求められます。私はまだ入社したばかりで、知識も技術も十分ではなく、日々勉強に励んでいます。また、仕事をこなしていく中で加工の知識や技術の理解を深めることができます。その過程で、自分からお客様へ加工方法を提案し、ご希望を形にできたことがあります。そのときに大きなやりがいを感じました。今後、知識や技術を身につけていき、新たな加工技術を開発していきたいと思います。

エンジニアを育てる高専の環境を生かして

高専では、授業での実験や研究などで試行錯誤して取り組む機会が多くあると思います。その際は、自分の力で課題を乗り越えることを意識し、その経験を大きな糧にしていってほしいです。受託加工課の仕事では加工技術の開発や技術者同士でしか対応できない加工の相談などを行っています。これらの業務には様々な分野の知識が求められ、私自身も高専で学んだ幅広い技術知識が役に立つていると実感することができます。どの分野に進んでも高専で身につく知識や能力は決して無駄にはなりません。ぜひ、他学科との交流があり、様々な分野を学べる環境を活かして勉強に励んでください。

株式会社 田中化学研究所



製造技術部 製造技術 2 チーム

伊藤 千騎

環境システム工学専攻

令和 6 年卒業



〒910-3131

福井県福井市白方町 45-5-10

TEL 0776-85-1801

幅広い業務 学んだことが意外な場所で役に立つ

研究と生産の中間で合理化を目指す

私の所属する製造技術部では、製品を製造する際の条件設計や最適化のほか、製造工程でのコスト合理化に取り組んでいます。

そのため、直接ものを作ったり、研究開発のようなゼロから新しいものを創出したりする仕事とは少し異なります。私たちは研究開発が作り上げたものを実際に工場で効率的に生産するための橋渡し的な役割を担っています。製造現場での実態調査や、ラボスケールの実験から実機での大規模な実験まで、幅広い対応が求められます。苦労も多いですが、工程時間の効率化や生産ロス削減などの合理化はその成果が実績として目に見えるため、大きなやりがいを感じます。

おぼろげな記憶でも毎日の役に立つ

私の場合、高専で学んだことを今でもすべて完璧に覚えているとは言えません。しかし、あいまいな記憶であっても、日常の業務で非常に助かっています。実際、当時は使いどころがピンポイントすぎると思っていた化学工学の計算法や、無機化学でテスト前に頑張って覚えたものの忘れてしまった内容、特定の状況での統計手法などが、いざ必要なときに「昔やったな」と記憶がよみがえります。そんなときに教科書を開きなおしたり、やり方を調べたりすると、「当時学んだことはこのためだったのか！」と実感します。在学生のみなさんも進級とともに数多くの講義や研究活動など、忙しくなるかと思いますが、こうした経験は社会に出て、必ず役に立つ日が来るはずです。



土木部

福岡 周也

環境都市工学科

平成 24 年卒



〒915-0806 福井県越前市本保町 21-10

TEL 0778-22-5255

プロを結集させて、より良いものを作る！

成果が後世に伝わる仕事

当社は越前市に根ざした総合建設業で、私の所属する土木部では道路造成や北陸新幹線トンネル工事、高速道路の補修工事などを行っています。私は入社 8 年目の現場監督として配属された現場での安全・品質・工程などの管理を行う施工管理を担当しています。現場監督はプロジェクトの名脇役というべき存在です。何を使ってどう造ると効率が良いのかをその道のプロ（施工会社）にお願いし、チームとして纏め上げます。現場での主な仕事は作業員に設計値を指示したり、材料や重機を調達、関係各所との連絡等、プロジェクトが滞り無く進むよう調整します。プロジェクトが想定通り進まなくなった時が現場監督としての真価の発揮どころで、発注者やプロと協議して代替策を講じて問題を乗り越えていきます。完成させた時の安堵感や達成感、会社としての収益化、自分の作った成果が形となって後世に残る誇らしさはこの上ないやりがいを感じられます！

高専卒というアドバンテージ

私は卒業後 5 年程、医療系 SE を経てから入社しました。環境都市工学科から SE になれたのは授業でプログラミングがあったおかげで、土木に転向出来たのも学んだ基礎のおかげです。高専で学ぶスキルの汎用性には驚かされます。皆さんは習得してすぐ社会で力を発揮できる立場にあり、大学卒より 2 年も早く実務経験を積む事ができます！このアドバンテージは非常に大きく、一人前と言われる施工管理技士の取得にはこの年数が大きく関わります。ただ、実務経験が無くても在学中に学科試験を受験することができます。自分の価値を高める為にも、まずは学科試験から挑戦してみましょう！



人と大地を紡ぐ
最高のパートナーへ

株式会社田中地質コンサルタント



デジタル事業部 部長
長岡 達哉
専攻科 環境システム工学
平成17年度卒業



〒915-0082 福井県越前市国高二丁目 324 番地 7
TEL 0778-25-7000

地質とデジタルで地域を支える、防災・減災の挑戦

地質調査で地域を守りながら、毎日が発見の連続！

専攻科を卒業して、越前市の地質調査の会社に勤めています。弊社は、地質を専門とした建設コンサルタントのプロフェッショナルチームです。皆さんのが立っている大地のことを調べ、お客様の地質の困りごとを解消しています。地下の見えない部分の「形」・「質」などを調べ明らかにして、その土地に適した対策を提案します。入社したての頃は、お客様に見えない地下の様子を論理的に説明する先輩を見て探偵のようだと思いました。

見えないので悩むこともあります、思いがけないことがヒントになり答えに近づくことがあります。非常に面白いです。自然物を対象としているので、単調なことがなく驚くことが多いです。シンプルながら規則性のある地層線（地層の境界を表す）が引けると嬉しくなります。

好奇心を武器に、地質とデジタルで社会に貢献

社会に出て19年が経ちました。高専生の頃には今の自分は想像できませんでした。1年生の時に物理で苦しみややい学校に来たと思いましたが、友達や先生の助けて楽しく過ごせました。高専 - 専攻科の7年間で様々なことを学び・知ることが出来ました。当時は理解できなかったこともあります。「分からなくても良いから、どこに書いてあるか知ること」と教えてくれた先生の言葉に間違いはありませんでした。分からぬなりに知っていることが大きな財産になりました。私は新設されたデジタル事業部で、自分たちで調査した地質情報や色々なオープンデータ等を組合せ防災・減災に資する解析を行っています。土木分野に限らず、何事にも好奇心をもった方と仕事が出来ればと思っています。



大江 颯

北九州工業高等専門学校

専攻科 生産デザイン工学専攻

令和 5 年修了



〒910-0045 福井県福井市北檜原町 13-26

TEL 0776-59-1358

設計から製作まで自らの手で

総合的な視点から見る製品づくりの魅力

鉄工所でアルミや鉄、ステンレスなど様々な金属を用いた製品を、多岐にわたる企業や個人のお客様からの依頼でオーダーメイドで製作しています。さらに自社オリジナルで、バーベキューグリルやアルミ製のコンテナキッチンカーなどの開発も行っています。現在の仕事は設計から加工・組立・設置までの全工程に携わることができ、自らのアイデアやスキルが製品に多く反映され、それが自身の手で実現できることに喜びとやりがいを感じています。特に設計においては、様々な要素を考慮する必要があり、加工方法や鋼材・部品の規格、材質の特性など、専門知識と加工の経験が欠かせません。日々、新たな事を学び経験し、様々な課題に対して試行錯誤を重ねながら製品を完成させる瞬間には大きな達成感があります。

多彩な経験の価値：専門外の知識を活かす

学生時代は飛行ロボコンの出場や、ベンチャー企業で介護ロボットのハードウェア開発に携わり、研究では熱音響やロボットの制御プログラムの開発を行い、一つの分野にとらわれず様々なプロジェクトに積極的に参加していました。この高専での経験がモノづくりに対する自信と新しいことへの興味につながっています。自分の先行している分野にとらわれず未知の領域に足を踏み込むことで、新しいアイデアの発見や自分の知らない世界の多さに気づくことができ、広い視野でモノづくりができると感じています。



東海支店下水道技術部 技師
飛坂 直哉
環境都市工学科
令和2年度卒業



〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号
JR金沢駅西第一NKビル7階（本社）
TEL 076-263-6464

先人から受け継ぎ、未来に繋げていく誇りある仕事

知識や経験を受け継いで成長していく実感

私は上下水道コンサルタント会社の一員として、下水道に関わる多様な業務に携わっています。これらの業務は、常に『持続可能』と『地方創生』という二つの理念に基づいて進められています。具体的には、新たな下水管の設計から、既存の下水管の長寿命化、さらには下水道関連情報のデジタル化と管理システムの構築といった幅広い業務を手掛けています。

自身の成長には、専門技術の学習だけでなく、経験豊富な上司や仕事先の市役所の職員の方々、長年地域に住む住民とのコミュニケーションも重要であると日々実感しています。そして、自分が携わった業務で新しくなった下水管や管理システムが、多くの人々の生活を支えていることに、大きなやりがいを感じています。

ツール操作や専門科目は大切な基礎となる

学生時代には多くの授業や実習から知識を習得し、現在も勉強を続けています。特に印象に残っているのは、授業と同じ CAD ソフトを使って設計を行ったり、多くの業務において Excel や Word など基本的なツールの経験が大いに役立ったことです。また、専門科目の知識は、仕事の基礎としてだけでなく、資格取得や新たな知識・技術を学ぶ土台として現在でも大いに役立っています。高専で得られる様々な知識や経験は、社会に出てすぐ役立つものから、一生涯にわたって活用できるものまで、非常に幅広いものであると感じています。高専で培ったものは、皆さんのが社会で活躍するための大きな武器となります。学生の皆さんのが、将来、社会で活躍できることを心から願っています。



開発本部

隅谷 海里

富山高専 電子情報工学科 2020 年度卒
富山大学 知能情報工学科 2022 年度卒



〒163-1423 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号

東京オペラシティタワー23F

TEL 03-5365-7888

自由度が高く、意見やアイディアを言える環境

お客様との関わりから開発、テスト等、幅広い経験

私の現在の仕事内容は、ユーザー数が 100 万人を超えるエンタメ系 web サービスの保守運用担当エンジニアになります。具体的には、ちょっとした不具合の修正や、お客様が改善したいと思っていることなどをお聞きし、システムを改修し、より使いやすく、より便利にしていく仕事をしています。そのような仕事の中で、実装だけではなく、1 年目の時から、お客様が参加する会議に出席させてもらえており、お客様の声や要望をダイレクトに聞ける環境で仕事をしています。そのため、改修の依頼が来た際には、お客様はこう言っていたから、このようにした方がいいのでは? という意見を PM や SE に伝え、議論することができます。時には実際にそれが取り入れられる場合もあり、自分のことを認めてもらっている、という自信にも繋がっています! 会社の雰囲気もフランクなので、自分の意見を言いやすいですし、たとえ自分に考慮が足りなかつたりしても、チームの先輩方が導いてくれるので、成長につながっている実感があります。是非インターンに遊びに来て感じてみてください!

とりあえず手を動かしてみようの意識

高専の特色である、手を動かしながらの授業形態は、今でも活きていると思います。お客様からの要望に応えるため、どの箇所をどう改修すれば良いかについて、迷うことはよくあります。改修するためには、既存コードを読み、熟知することが不可欠です。そうしないと、改修が不十分どころか、他の機能に影響を出す可能性もあるからです。しかし、分からないますますっと唸っていても前には進みません。テスト用のコードを書き加えたりしてとにかく手を動かしてみる。そうすることで、見えてくるコードの動きや改修方針もあります。時には手をとめ、じっくり考えることも必要ですが、分からなくても手を動かしてみるという意識は、高専の授業形態の賜物だと思っています!



設計部

田島 涼汰

機械工学科（平成 23 年卒業）

福井大学工学部 知能システム工学科



〒918-8176 福井県福井市三十八社町 32-19-31

TEL 0776-38-5118

ものづくりの最先端を支える仕事をしています

“モノを作る機械”を作る仕事

現在、設計部にて工場で稼働する産業用機械の設計を担当しています。

設計部では、車載用コネクタや電子部品、半導体関連部品の組立機・検査機・搬送機・加工機など、幅広い業界や目的に応じた機械を手掛けています。お客様の求める仕様に基づいて機構を検討し、モータなどの購入品を選定、その後に組立図を作成し、製作用の部品図や購入品リストを作成します。

弊社の機械の多くは、スマートフォンや自動車といった身近な製品の製造に使われています。自分の車のボンネットを開けた際や、扱ったことのある製品を目にしたときには、少し誇らしい気持ちになります。弊社の機械は案件ごとに新規設計となることが多く、トラブルも少なくありません。そのため設計の仕事は大変な時期が多いですが、自分の描いた通りに機械が動いた瞬間の達成感は格別です。

福井高専の経験は今の仕事にも活きてています

高専時代に学んだ工学的な知識はもちろん、金属の切削・鋳造・鍛造・溶接といった実習を実際に体験できたことが大きく役立っています。部品の形状を決める際には、設計した部品がどのような加工や段取りで作られていくかを十分に考えなければ、製造コストが大幅に上がったり、そもそも製作が不可能になりました。高専では手を動かしながら幅広い加工法を学んだため、「とんでもない部品」を設計してしまったことは（あまり）ありません（笑）



技術部
杉田 光
福井大学 建築・都市環境工学科
令和5年卒業



〒910-0017 福井県福井市文京7丁目8-17
TEL 0776-97-8141

社会基盤の技術者集団を目指して

自然を身近に感じる

弊社は、国や地方公共団体等に土木事業関連の技術を提供することで、広く社会貢献する建設コンサルタントです。私は主に斜面の防災対策や災害復旧などに関わっています。

初めての現場は越前海岸沿いでした。道路沿いの斜面を登り、道路に影響を及ぼしそうなものがないかを点検します。その中で、多種多様な防災対策を見ることが出来ました。道路沿いにある柵や網だけでなく、山の中にあるワイヤーなどで、道路や近接した建物などを守っています。近年は地震や豪雨の災害が多発していますが、調査して適した防災対策を行うことで、災害を防ぎ、軽減することができます。自然を理解しながら人々の安全をまもる、とてもやりがいのある仕事です。

就職時の不安は何とかなる

私は幸い、就きたい職種で働かせてもらっています。就職してしばらくは「授業で習った専門的なことを覚えているか」と不安になっていました。そんな時、「この言葉習ったな～くらいで大丈夫だよ」と声をかけてくださったことで、楽な気持ちになれました。実際の仕事の中では知らない専門的な言葉が出てきますが、自分で調べてみたり、教えてくださったりするので、不安はなくなりました。また、就職したら学生より時間が少なくなり楽しみが減るのではという不安もありましたが、経済的に余裕ができるのでむしろ学生の時より私生活を楽しめていると思えるほどです。

就職するときの不安は大体何とかなるので、今しかない学生生活を思いっきり楽しんでください！



沼津技術 4

小杉 紀瑛

富山高等専門学校 電子情報工学科卒
2022 年度 卒業



〒410-0001 静岡県沼津市足高字尾上 292-83

TEL 055-924-3921

挑戦の先にある成長と自信

仕事での達成感が自信になる

私は「外観検査装置」という、電子部品の製作で発生した傷、汚れを検査する装置メーカーの技術グループに所属しています。主な業務は新要素の開発、装置導入後のアフターフォロー、装置の製造などです。常にお客様と近い距離感で仕事をするため緊張もありますが、装置が完成した時や業務の対応が完了した瞬間の達成感にとてもやりがいを感じています。

時には装置の立上作業や不具合対応のため、国内・海外の客先工場へ訪問することもあります。入社時は海外に行くなど考えてもいませんでしたが、若手のうちから海外で仕事をすることはとても大きな経験になりますし、自分自身への自信につながっています。

苦手なことがあっても大丈夫

入社して一番感じたのは、高専時代は電子情報工学科でしたがプログラミングなどの授業内容に対しては苦手意識を持っていました。そのため入社前は不安がありました。実際に働いてみてからはメカ設計・ソフト制御・画像処理など様々な業務系統があったため、自分の興味のある分野を選んで仕事をすることができました。高専で学んだ内容も仕事の中で出てくることもありますので、日々の授業や研究は自分のスキルに繋がってきます。皆さんには学生生活の中で色々なことに挑戦して、自分のスキルを高めていってもらえたたらと思います。また、学生のときにしかできないこともたくさんありますので、今ある時間を是非楽しんで過ごしてください。



水道技術本部 主事

竹内 彩加

環境都市工学科

令和5年卒業



〒163-1337 東京都新宿区西新宿 6-5-1

新宿アイランドタワー37階

TEL 03-3343-4562

視野を広げ、好きな事を仕事に

責任感とやりがい

私が所属している部署は、水道技術本部の管路管理第一課です。この部署では、配水管の付属設備の状態を調査し、安心安全に水をお届けできるように管理しています。

私の仕事は、直接お客さまと関わることはありませんが、水をお届けする基盤を管理している為、安心して生活していく中で必要不可欠な仕事です。漏水が起きてしまうと、住宅はもちろん、交通機関や商業施設に被害が出る大事故に繋がってしまいます。漏水事故の可能性がある設備を調査し、事故を未然に防いでいます。専門知識など学ぶことが多いですが、知識を広げていくことができます。

人との交流の大切さ

私は高専の頃、構造力学やコンクリート実習の授業が好きでした。構造力学では、割り箸を用いて橋を作成したり、コンクリート実習では、コンクリートの強度を調査したりしていました。今思い返すと、私は調査をすることや、その結果、どう改善していくかを考えることが好きな学生だったと思います。その他にも、市役所での課外活動に参加していました。そこでは、実際に働いている方とボランティア活動を行っていました。町に住んでいる方や働いている方、他学校の生徒との交流を深めることで、視野を広げることができました。この活動や私の好きな学習が、現在の仕事に深く繋がっています。課題やテストはもちろん大切ですが、様々な方と交流ができる機会があれば参加し、視野を広げることも大切です。高専での生活で、好きな事を活かせる仕事を見つけてほしいです。



つくっているのは開放感。

株式会社 TOKO



技術開発研究所
渡邊 魁士
機械工学科
令和2年卒業



〒916-0062 福井県鯖江市熊田町 1-100
TEL 0778-62-1122

ものづくりの現場で

製品を一からつくる仕事

エクステリア製品を開発するチームに所属しています。入社して半年が過ぎたころから設計を任されるようになり、いくつもの製品に携わってきました。設計は製品の強度や部品の形状、安全性など様々なことを想定しながら、チーム全員で意見を出し合って取り組んでいます。一人では、頭を抱えることもありますが、多くの意見を取り入れることで設計の指針が定まり、迷いなく進めることができます。人の手に渡るものをゼロから作っていくという仕事には大きな責任が伴いますが、「設計した製品を受け取った人がどう思うのか」を意識して取組んでいるため、製品が売れ、お客様の喜ぶ声が聞けたときの嬉しさは一入です。

高専での学びは役に立つ！

学生時代は勉強が得意ではなく、テストが近づく度に苦しい思いをしていた記憶があります。しかし、振り返ってみると「あの時、頑張っていてよかった」と思うものです。設計をする上で必要な基本的な知識、考え方は全て高専で学んだものです。現在任されている仕事には、材料・材質の知識、梁などの強度計算の知識等が必要とされますがどちらも、高専在学中に学んだことであり、仕事を進めていく上で、役に立っていると実感しています。全ては覚えていなくとも、頭の片隅に「聞いたことがある」という記憶が残っているだけで物事への取組み易さは大きく変わってきます。また、初めて見るような事柄や現象も、高専で学んだことを基に関連付けていくことで、案外抵抗なく納得出来たり、理解が深まったりすることもあります。「今学んでいることは役に立つ」というプラスの思考で学生生活を送ってください。



株式会社 東洋設計



基盤整備 1 部

竹澤 淩裕

東海大学 海洋学部 海洋地球科学科
令和 2 年卒業



〒920-0016 石川県金沢市諸江町中丁 212 番地 1
TEL 076-233-1124

公共インフラのメンテナンスって何するの？

橋のお医者さん

基盤整備部で、日々公共インフラの設計業務に携わっています。具体的には、橋の点検や補修、そして設計です。皆さんのが車に乗って通る「橋」が安全かどうかを診断しています。

点検の仕事は、直接成果として見えるものではありませんが、公共インフラを整備することは人々の安全な生活を支える上で必要不可欠なことです。初めて橋の桁下に入って構造物を間近で触診した時は、自分達にしかできないことだと実感したことを覚えています。設計においては、さらに様々な知識が必要となり、その分責任感とやりがいも強く感じます。

初めての分野への挑戦

私は正直、設計分野は初心者でした...。学生時代は海洋関係について学んでいたので、今とは全く分野が違います。この仕事を選んだのは、やはり人の役に立つことがしたかったからです。図面を描くにしても初めて触る作図ソフトは覚えることがたくさんありました。今では主体的に業務を進められるまでになりましたが、右も左も分からぬ中で努力した経験は必ず今の自分に生かされています。橋梁部門は現場も多く、力仕事もあります。東洋設計の中にも様々な設計部門があり、それぞれの部門で異なる構造物を設計しています。1つの企業の中にも、いろいろな分野がありますので、ぜひ自分に合った分野を見つけるよう願っています



東洋染工株式会社



加工部 色彩課

前田 由貴

専攻科 環境システム工学専攻

平成 24 年修了



〒919-0477 福井県坂井市春江町田端 43-15

TEL 0776-51-2323

女性が中心となって、会社を支える

彩りある会社を目指して

色彩課とは、顧客のニーズに合わせた色彩データの作成、または工場全体での色の調整・検証等といった、色に関わる全ての業務に関わる部署です。社内のシリコンバレーと呼ばれる程、加工部では中心的な立ち位置にあります。色彩感覚が鋭いといわれる女性達が活躍し、最前線で働いています。我々のものづくりで社会に彩りを与える為、日々勉強と失敗を重ねて様々なことを学んでいます。

厳しい職場環境を想像するかもしれません、結婚・出産した女性も安心して働く制度も整っており、私も子育ての傍らフルタイムで働いています。社会や顧客だけでなく、社員にも彩りを与える職場を目指して、現在進行形で様々な改革を行っています。

あらゆるところに“学び”がある

私は本科の4年から編入してきた1人でした。クラスに誰も知り合いが居ない中、とにかく授業に食らいついていくために、勉強だけでなく、周囲とのコミュニケーションや課題の傾向等、どんな事でも学ぶことを第一に考えていました。現在、弊社の高専卒は私のみで、とにかく高専の印象を悪くしないようにと、新人の時はそんなことばかりを思って行動をしていました。とはいえ、学生当時からやっていることはほとんど変わりません。悩む前にとにかく出来ることを試して、失敗したら原因を調べて、時には同期や上司の助言も活かして検証していく。毎日が発見と反省の連続で、社会人になっても“学び”は終わらないのだと実感しています。



瑞浪工場 製造課 製造係

加藤 雅斗

名城大学

平成 27 年卒業



〒509-6104 岐阜県瑞浪市山田町小洞 2011

TEL 0572-66-2001

日々の経験が成長につながる仕事

より良いものを作る仕事

私は化粧品製造の工場で、原料調合やライン管理、機械オペレーターの仕事を担当しています。製造業の仕事をする中で、1つの作業に対して様々なトラブルや改善点が見つかります。その解決策を皆で提案し、試行錯誤を繰り返すことで、効率的な作業を行い、より良い製品を作る事ができます。この改善策の提案や試行錯誤がこの仕事の魅力であり、この会社は皆の意見を共有し、それらに取り組むことができる環境だと思っています。

社会に出てからも経験と勉強

実は私は大学卒業後約6年間営業の仕事をしておりました。転職を経験し、現在の工場に勤め始めた直後は毎日が勉強であり、新しい経験でした。その中で、毎日の業務での勉強と経験を生かし、作業の改善や提案ができた際には、やりがいを感じました。また、製造業の仕事をする中で、営業の仕事と共通している部分があると感じました。その部分は、人とのコミュニケーションが大切であるという部分です。営業では、成果を出すために誰かと協力することが必要です。製造業でも同じように1つのモノを作る際に、その作業工程に関わる人と協力することで、より良いものを作るという成果を出すことができます。これから社会に出られる学生の皆様には、人との関わりを大切にし、学生時代に学んだことに、社会に出てからの経験と勉強を加えて、より良い仕事ができればと思います。



福井支社 営業四課
前田 直人
専攻科 生産システム工学専攻
平成 23 年修了



〒918-8550 福井県福井市毛矢 3-2-4
TEL 0776-36-5520

営業という鞘腫でも高専は強みになる

信頼を得られるというやりがい

私は轟産業で営業をしています。主な商材としては工場で使用する生産設備や学校/研究機関で使用する分析機器等になります。

商社はメーカーから商品を仕入れ、お客様に商品を納めます。一つの商売でお客様とメーカーとやりとりをします。単に商品を納めるだけでなくより良い提案を行うこともあります。自分が提案したことでお客様に満足頂けるとお客様だけでなくメーカーからも信頼を得ることが出来ます。この信頼こそ営業のやりがいです。

今でも高専時代に学んだことが生きている

「こんなこと学んで実際に仕事で使うのだろうか?」学生の頃、よく思っていたことがあります。高専で学ぶことは一般の高等学校と異なり、専門的な内容がほとんどです。轟産業では営業という立場でありながら工業的な専門知識を多く必要としています。そのため、学生の頃は思いもしなかったような専門知識が必要になってきます。また、営業の商材は様々で多くの分野の知識が必要になります。専攻科で学んだ他学科の知識がここで生きています。高専で良かったなと思う反面、もっとしっかり学んでおけば良かったとも思います。学生の皆さんには選り好みせず、全ての授業が糧となると思い、勉強に励んで下さい。



建設コンサルタント

内外エンジニアリング株式会社

— Since 1955 —



技術2部 プロジェクトスタッフ

園 彩香

環境都市工学科

令和5年卒業



▲女性サロンの1枚★(技術会議にて in グランフロント大阪)

〒601-8213 京都市南区久世中久世町2丁目103番地

TEL 075-933-5111

誠実と確かな技術...、そして社会に貢献

働きがいは、『一つ一つの積み重ね』

弊社は、さまざまな社会インフラの企画・調査・計画・設計から施工管理・維持管理に関する技術を提供しています。私は土木技術系の部署で、上下水道分野について携わっています。調査、設計、計算…など日々の様々な業務を通して、成果品を完成させることが仕事です。

近年の女性技術者の増加に伴い、気軽に業務の悩みや人生プラン、プライベートを話せる場として、昨年に「女性交流サロン」が設立され、女性にも働きやすい職場となっております。(上記写真)

建設コンサルタントの仕事は、こうした日々の業務の積み重ねが、自分自身の成長へと繋がっていくものです。入社3年目を迎えた今では、自分なりの工夫や判断を求められる場面も増え、やりがいとともに、より大きな責任を実感する毎日です。

後悔のない5年間に…

高専で学んだことが、今、直接的に生かされているかと言われると、そうだと断定はできません。しかし私は、高専での5年間は諦めない力を養うための準備期間だと感じます。皆様、レポートや実習に日々苦労されていると思います。私はこの5年間があったからこそ、現在も仕事に対して結果を導き出すために根気強く向き合えることができています。また、学生時代は高専祭の実行委員やガリレオコンテストなどの勉強以外の活動で、様々な人と関わさせていただき、自身の視野を広げることができました。どうか高専に入って良かったと思える学校生活を送ってください。



(株) ナカテック



営業技術・設計技術
前川吾大、岩谷宏一、嵐 和之
金沢工業大学 工学部卒業
福井大学 工学部卒業
名古屋大学 大学院修了



＜本社工場＞

〒919-0411 福井県坂井市春江町藤驚塚 37-9

TEL 0776-51-1666

- ・県内外に丹南事業所などの工場、支店、営業所
- ・日本海産業(株)などのグループ会社

皆さんの若さでプロジェクトを推進し、創る

君に合ったプロジェクトは？

(株)ナカテックは14社から構成されるナカテックグループの中核企業で、客先企業の課題を解決するサービスエンジニアリング企業です。グループ企業には、福井県内唯一の高圧ガスプラント保安検査機関である日本海産業(株)などがあり、多くの職種の社員が在籍しています。設計、機械加工、プラント建設、非破壊検査、機械保全、電気工事、制御機器製造、研究開発、プログラム開発、事務など多種の業務（プロジェクト）があります。この中から皆さんの希望に合った仕事を見つけてみませんか。先輩からやさしい指導を受けて一人前になれば、どんどん業務の範囲を拡げることができます。また、興味のある仕事が見つかれば、会社を立ち上げることもできます。

「水」の可能性を見つけて、今は「超純水」「水の浄化」を目指しています。

水道を始めとして水が無いと私達の生活は成り立ちません。(株)ナカテックでは、約10年前に「水事業」を立ち上げて、純水装置の製造などに取組んでいます。最近は、医薬品や半導体の製造で利用される超純水の製造装置を多く製造しています。水道水、海水、飲料水など、身の周りにある水には多種あり、これらにはイオンが含まれ電気が少し流れますが、超純水はこのイオンや、固体物などの不純物を究極まで減らした高純度の水です。それらを減らす技術そして装置を開発、製造するのが私たちの仕事です。私たち3人が大学時代に培った機械や化学に関する知識を融合して、新しいプロジェクトに繋がっています。



中日本土木株式会社



工務部
手鹿 大輔
環境都市工学科
平成 14 年卒



〒915-0057 福井県越前市矢船町 19-1-2
TEL 0778-23-0505

未来への道を造る仕事

地域の人に感謝の気持ちを忘れず、街づくりに貢献する

弊社は、県内、丹南地区を中心に、道路・河川・宅地の造成・トンネルの補修工事などの土木工事と舗装工事を主に行っている会社です。大きな公共工事の他、民間の小さな外構工事なども手がけ、地域の方々に感謝の気持ちを忘れず、街づくりに貢献しています。

「中日本土木さんに頼むと、いいもんになったわ。ありがとう。」と感謝された時が一番やりがいを感じます。

高専での学生生活が役にたっています

高専を卒業し、社会人になって役に立ったことは、測量実習、CAD 操作の修得やレポート作成など高専で履修する授業を通して学べる事もありますが、それよりも、高専の自由な校風の中で学校生活を送ったことで、コミュニケーション能力を身に付ける事ができた事だと思います。

社会に出ると、さまざまな挫折に出会うことがあると思います。高専生は、どんな時でも、くじけず、臨機応変に対応できる能力を、学生生活の中で学んでいます。学生の皆様には、今の高専での勉強を頑張って下さい。決して無駄にはならず、将来の財産になるはずです。



ZOZOTOWN Web 開発チーム

土下 陽生

電子情報工学科

令和4年卒業



〒918-8237 福井県福井市和田東1丁目222 SYビルC

TEL 0776-58-3380

人気アパレル EC サイトの開発に携われるやりがいのある仕事

興味のある分野で尽きない好奇心

私は現在、言わずと知れた人気アパレル EC サイト「ZOZOTOWN」の開発に携わっています。

私はもともと IT の分野に興味があり弊社に入社したのですが、弊社でしか味わえなかつたと感じる大きなやりがいとして、人気 EC サイトの開発に携われているということです。自分が開発に携わったものを多くの人に利用していただき、それを目で見て直に感じることができ、高いモチベーションで楽しく仕事に励んでいます。自分自身、ファッショニに少し興味があり、以前から ZOZOTOWN をよく利用していたので、自分の開発が具体的にどのようにサービスに対して影響を与えていたのかなど、日々興味が尽きません。次章でも述べるのですが、このように好奇心を持って楽しいと感じながら仕事に取り組めているのも高専で学んだ多くのことがあってこそだと思っています。

技術を学ぶ側から扱う側に

みなさんは特に各学科の専門科目などで苦手意識があつたり、いまいち熱が入らなかつたりといった科目はありませんか。仕事に就くと、技術を学ぶ側から技術を扱う側に変わります。前章で述べたように扱う技術にも当然のように具体性があり、少なからずやりがいも感じられます。すると、意外な分野に強く興味を持てたり、楽しいと感じられたりするかもしれません。今はただただ大変に感じる実験や課題、暗記のテストでさえもきっと将来に役立つ重要な要素となります。ぜひ今一度やる気を出して頑張ってみてください。



事業部 技術科
難波 敦史
金沢工業大学 機械工学科
令和3年 卒業



〒910-3145 福井県福井市串野町 8-20
TEL 0776-83-1188

国内シェア No.1 製品製造のメンバーに

要望される製品の製造に携わって

ナック・ケイ・エス株式会社では、カーブミラーや交通安全用品、プールやタンクなどのFRP製品の製造・販売を行っています。特にカーブミラーのシェア率は国内No.1であり、独自の真空成形＆真空蒸着技術を用いた当社を象徴する商品です。

私の所属部門では、生産工場、ユーザーへの技術サポートが主な業務です。製品図面、技術資料の作成、品質管理のための試験を、社内・公的機関で行います。さらに、新設備導入の際は機械の仕様検討なども行います。

業務内容が全社的に関わることが多いため、オールマイティに対応する必要があります。時には思うように事が進まない場合もありますが、関連部門の人達と協力することで、最終的にお客様や社内の人にも良い評価を得られた時には喜びや自信に繋がり、やりがいを感じることができます。

「聞く」ことの大切さ

大学で学んだ、機械工学に関する知識は、日常の業務で非常に役に立っています。またカリキュラムが進んでいくと、内容が難しくなり、実験や研究で行き詰まったりして、自身で考えてもどうすればいいのか分からぬことが多いです。そんな時は教授に相談することで、解決のための答えやヒントが得られるほか、新たな知識を学ぶことができました。また、相談をすることで学びの姿勢を評価していただくこともありました。

会社でも同様に上司や先輩方が困ったときに助けになってくれます。その際にメモを取るなど、学びの姿勢を体現することで、教えてくれる人から自分に対する印象や評価もよくなりますし、より親切に教えてくれます。高専の皆さんも、困ったときは一人で抱え込まずに、頼れる人達に意欲的に学びにいってください。必ず社会で役に立ちます。

日華化学 株式会社



商品開発研究部 機能素材開発グループ

小林 俊貴

物質工学科 令和元年卒業

福井高専 専攻科 環境都市工学科 令和3年度卒業

福井大学 大学院 産業創成工学専攻 令和5年度卒業



〒910-8670 福井県福井市文京4丁目23-1

TEL 0776-25-8554

高専で培った経験を活かせる仕事

研究×営業×製造—多職種連携で広がる視野

私は現在、ウレタン樹脂の開発に携わっています。入社前は研究中心の業務を想像していましたが、実際には営業と顧客ミーティングに参加したり、製造現場でスケールアップの工程を確認したりと、幅広い業務に関わっています。顧客との対話を通じて製品の最終用途を明確に理解できるだけでなく、製造過程を実際に見ることで、自分が関わった製品が形になっていく様子に大きな達成感を得られます。研究だけでなく、現場や顧客とのつながりを感じられる点に、この仕事のやりがいがあります。開発という立場から、製品が社会にどう貢献しているかを実感できるのは非常に魅力的です。

19歳からの研究経験は大きな財産

高専生の最大のメリットは、大学生よりも早い段階から研究に取り組めることだと思います。私は専攻科から大学院に編入したため、学生時代に6年間研究を続けてきました。本科4・5年生の頃は遊びたい気持ちもありましたが、研究に真剣に向き合った経験は、今では大きな財産です。早期から研究に触れることで、専門性や課題解決力が自然と身につき、社会人になってからも大いに役立っています。高専では実験や実習を通じて実践的な力が養われるため、現場での対応力や柔軟な思考力も身につきます。高専生ならではの強みを活かして、皆さんにも充実した学生生活と社会人生活を送っていただきたいです！



鋼構造部
矢原 雄太郎
環境都市工学科
令和 3 年卒業



〒910-0026 福井県福井市光陽 1-6-10
TEL 0776-21-8800

仕事のやりがい

仕事のやりがい

日光産業株式会社は、福井県内の一般土木工事・法面・道路工事・橋梁補修工事等の建設業を中心とした事業を展開している会社です。地域の方々が安心して暮らせる豊かなまちづくりに貢献するため日々汗を流しています。私は入社後、鋼構造部に所属し、橋などをメインとした鋼構造物等の現場で現場管理の仕事に勤めています。現場管理とは、工事が安全かつ円滑に進むように現場の監督となって工事現場を指揮する仕事であり、この仕事上、地域住民の方々とお話をさせてもらう機会が多々あります。その時に、地域の方々から感謝の気持ちを伝えられることがあるのですが、それが自分自身のやりがいになっていると感じます。

高専時代に学び役立っていること

今思いますと、基本すべての知識が役に立っています。私自身、高専時代は「こんなもんいつ使うんやし」と思うことばかりでした。しかし、日光産業ではそのような専門的な知識や技術が実際に必要になります。そのため、高専で良かったと思うことであれば、この経験をもって高専に戻れるというのであれば、高専在学時の 5 倍、いや 10 倍は熱心に勉強をするでしょう。そうするとただでさえ良い頭がもっと良くなってしまうのですが。今から社会人となる皆さんには、高専でしっかりと学んだことに自信を持ち、なおかつ楽しみや息抜きも忘れず頑張ってください。皆さんと社会人として名刺交換ができる日を楽しみにしています。



研究所 第一研究室

N.U

物質工学科 2015 卒

専攻科環境システム工学専攻 2017 修了



〒915-0802 福井県越前市北府 2-17-33

TEL 0778-22-5100

高専での学びを活かし、新しいモノづくりへ

日々成長を感じる新規製品開発

仕事は研究職に就いており、製品の新規開発や生産技術支援、トラブル対応など化学に関する仕事を幅広く行っています。就活の時、新しいモノづくりに携わりたく研究職・開発職に就ける会社を探していたので、新規開発の仕事は刺激があり楽しい半面、高専時代に暗記で対応していた分野は基礎がおろそかで非常に苦戦しており、業務の合間に縫って勉強しております。ただ、学生時代とは異なり、新規開発など明確な目標があるので、勉強も大変だけど楽しく、同僚たちと共に成長でき、部活のやりがいに似た感覚です。

高専時代に培ったバランス感覚と幅広い知識

高専時代の思い出は自由というイメージです。勉強、アルバイト、遊び、学生時代も忙しいですが、自由度が高いからこそ、そのバランスを考える癖がついたので、社会人になってからのギャップが少なかったです。また前述で暗記に頼りすぎたと書きましたが、高専は幅広い分野や科目を学べるので、多種多様な分野の知識・技術が必要な仕事では多くのことが“聞いたことある”から始められており、高専の強みを感じています。自分は暗記できてしましましたが、勉強を“理解”まで深められれば、単なる強みから卓越に成れると社会に出てから感じたので、才能と可能性にあふれる高専生の皆さんに期待しています！



技術推進グループ

辻岡 理仁

環境システム工学専攻

令和 5 年卒業



〒914-0027 福井県敦賀市若泉町 3 番地

TEL 0770-22-1400 (※写真は新九頭竜橋)

つくる。まもる。つなぐ。人と橋で社会に貢献する。

仕事の意義とやりがい

当社は「プレストレストコンクリート橋」を専門とする建設会社です。私は技術推進グループで高速道路橋の設計をする仕事に携わっています。近年供用から 50 年が経過し、補修・補強が必要な橋梁が増えている中で供用 100 年後も健全に利用できる橋を目標に設計をしています。具体的には、橋の長さや幅、通行車両などの条件に応じて断面形状や PC 鋼材配置を検討する等、構造的妥当性を確認し、それに基づいて図面を製作しています。また、橋梁の設計では建設現場の安全性や施工性、供用期間中における維持管理の容易さ等に配慮する必要があります。毎日が勉強の連続で、知識不足から壁にぶつかることがあります、私が設計した「橋」で人がつながり、次世代へと受け継がれることに大きなやりがいを感じています。

学生時代の経験

私が学生の皆さんに伝えたいのは「コミュニケーション」の大切さです。仕事を円滑に進めより良いものにするためには、様々な場面でコミュニケーションを取ることが必要不可欠です。私自身橋梁の設計という仕事を通して、発注者に設計成果の説明及び報告をする機会が多々あります。学生時代は人前で話すことに自信を持てていませんでしたが、高専では講義や卒業研究の報告など自分の考えを相手に伝える機会が多く、そのどれもが非常に良い経験になり今に活きていると感じています。皆さんもこの機会の一つ一つを大切に、社会人に向けて充実した学生生活を送ってほしいと思います。



製造部 製造1課

笠松 裕世

機械工学科

令和5年卒業



(本社) 〒910-2222 福井県福井市市波町 13-8

TEL 0776-96-4631 (代)

(永平寺工場) 〒910-1211 福井県吉田郡永平寺町法寺岡 2-5

TEL 0776-96-4253

自分の未来を見据え、働いていくこと

やりがいは達成感

弊社は主に建設機械に使われる高圧配管用継手を製造販売しており、私はその中でも試作品などを製造するマシンオペレーター業務担当です。多品種少量生産であるためルーティンワークのような単調な作業の繰り返しでは無く、製品ごとに工夫を凝らし、予想されるトラブルを回避しながら最高の製品を造らなければなりません。仕事は決して簡単ではありませんが、その分得られるものも大きいと感じています。例えば、日々の仕事の中で、自分なりの考えをもって提案したものが認められたり、仕事の改善に挑戦しそれが実を結んだりしたときの達成感は他では得難いものです。

学校がすべてじゃない

学生時代の出来はとにかく悪く、社会に出て働く自分の姿は全く想像がつきませんでした。しかし、いざ働きだすと、会社からの手厚い教育のおかげですぐに慣れることができました。また、機械工学科で学んだ知識や経験をそのまま活かし、資格にもチャレンジできることも大きな強みであると感じました。就職は、人生における大きな分岐点の一つです、しかし同時に、今までの自分から脱却し、やり直せるスタートラインもあります。成績が振るわず、すべてが投げやりになる。そんなかつての私と同じ気持ちを抱えている人は、就職してやり直すくらいの気持ちでとにかく就活に力を入れて、折れることなく将来に前向きに残りの学校生活を送ってくれるといいなと思います。



福井事業所 製造課
廣田 侑也
物質工学科
平成 24 年卒業



〒913-0036 福井県坂井市三国町米納津 49-111-7
TEL 0776-82-6117

基礎が役立ち自分の自信に！

得られるやりがいや達成感

電子材料の原料や半導体製造に使用される薬剤を受託製造している工場で働いています。その中でも私は顧客と直接やり取りをしながら製造スケジュールを決め、中心となって現場を回す立場にいます。最初は現場を回すだけでも苦労しましたが、今では顧客から提案されたスケジュールに自分の意見を反映させられるようになりました。また立場上、顧客の要望を聞き入れながらタイトなスケジュールを組むこともありますが、理解して製造してくれる仲間に感謝しています。

工場を一つ任されているという責任は大きく感じますが、それ以上にやりがいや達成感を得られています。

高専で学んだ基礎が仕事の役に立つ

この会社に入社して製造現場、品質管理等行ってきましたがその時々で高専で学んだ基礎が役に立っていると実感してきました。特に私たちの会社のような化学工場で働く場合、化学の知識が必要になりますが、専門的な知識があったおかげで作業内容が理解しやすくなりスムーズに仕事を覚えることが出来たと思います。また、学生時代にレポートの提出などの課題をこなしてきたことで、会社での報告書や資料の作成も苦労なく出来ています。

どの教科に限らず勉強しておいて良かったと感じる瞬間が社会人になるとあると思うので、将来のために勉強を頑張ってください。



品質保証部 品質保証二課

杉本 翔里

電気電子工学科

平成 26 年卒業



〒910-8502 福井県福井市定正町 401 番地

TEL 0776-56-8010

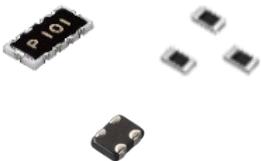
待ってます Wonders! な人

会社の窓口として

弊社は、今、世の中にある自動車、電化製品、産業機器といった、電気の流れるものには必ず使用されている機能部品を生産しています。

私は入社以来、品質保証部門に所属しており、ユーザー対応業務を行っております。

ユーザー対応業務は、ユーザーでのお困り事に対して、様々な解析・分析手法を駆使しながら要因特定し、ソリューションを提供する仕事です。ユーザーのお困り事は多種多様であり、日々新しい知識に触れ、自ら考えて、試してみる。言わば、毎日がチャレンジの場です。ユーザーの要望は厳しく、スピードも求められる大変な業務ですが、自ら提案したソリューションに対して、納得して頂き、ユーザーより感謝の言葉を頂いた時は、大きな達成感・やりがいを感じることができます。



なぜ?⇒考える癖を

会社に入社してから、自ら「考える力」が非常に重要だと感じています。

学生時代の勉強やテストはすべて、教科書に答えが載っていますが、社会に出てからの仕事にはどこにも答えが載っておらず、全て自ら考えて、答えを導いていかなければなりません。

高専では、普通高校と比較して、実験の授業や卒業研究といった自分で考えてすすめていく機会が非常に多いです。学生時代の内は、授業だから仕方なくと、感じるかもしれません、学生のうちから、一つ一つ疑問をもち、自分で考えて、試して、アウトプットすることを真剣に取り組み、癖つけておけば、必ず将来役に立ちます。

ぜひ、学生時代の内に、「考える力」をレベルアップしていただき、どこにも答えの載っていない問題に対して、一緒にチャレンジしていきましょう!!

**事業企画部門****伊藤 晴仁**

福井工業高等専門学校 本科卒

2024 年



〒105-0023 東京都港区芝浦 1-2-3 シーバンス S 館 最上階

TEL 03-3455-7755

高専経験×新卒即戦力で AI 時代を駆け抜けるエンジニア

社会の最前線へ —— 若き力で未来を支える

新卒入社後、標準型電子カルテの開発を担当し、フロントエンドからバックエンドまで幅広く経験しました。IT エンジニアとして医療分野や行政に関わる仕事にやりがいを感じています。

現在は GaiXer という生成 AI を用いたサービス関連の開発に携わっており、Next.js でのフロント開発に加え、AWS CDK を用いたインフラ構築も担当しています。AWS サービスを本格的に使うのは初めてでしたが、Claude Code など複数の AI サービスを活用し、どのリソースを使うべきかのリサーチから設計・開発まで、AI と協働しながら業務をスムーズに進められています。

高専で鍛えた技術と情報感度で、即戦力へ

高専では情報工学を主に学び、プロコンなどで GitHub を使ったチームでのゲームや Web アプリ開発を経験しました。授業で得た知識に加え、こうした実践的な経験が入社後の開発業務にスムーズに取り組める基盤になりました。ハッカソンなどの複数のコンテストに参加した経験で得た情報収集能力も日々役に立っています。高専生の皆さんには情報に敏感であること、そして AI を使い倒すことをお勧めします。変化の激しい AI 分野では、使い手がいかに早く順応するかが重要です。AI との協働に慣れていれば入社後にスタートダッシュが切れるはずです！



開発部 第三開発室

和田 真望理

物質工学科

令和 5 年卒業



〒910-3137 福井県福井市石橋町第 29 号 73 番地 3

TEL 0776-85-1300

どんな仕事も出来るスペシャリストを目指して

仕事で達成感を感じる時

第三開発室では、主にコストダウンや工程変更の試作、プラント製品の量産立ち上げ等を行っています。例えば、既存製品のコスト削減や、原材料の変更に伴う品質影響の確認、製品品質を向上するための実験を行いプラントで試作をしてから製品に反映します。量産立ち上げでは、開発品のプラント生産への移行業務や施策の立会い等を行っています。製品化してからトラブルが起きないようあらゆる面から検討が必要になり、複数のテーマを同時に進めることもあって苦労も多いですが、無事出荷されたときには大きな達成感があります。顧客のことを一番に考えるのは勿論のこと、製造の効率化、コスト削減に向けた、開発から製造への仲立ち業務にやりがいを感じています。

高専で身に着けた力は社会できっと役に立つ

高専で学んだ知識や技術は、私たちの仕事現場でそのまま活かされています。実際に、授業や実験で培った基礎が業務の土台となり、即戦力として活躍できる場面が多くあります。働く中で「もっと勉強しておけばよかった」と感じることもあり、学びの大切さを実感する毎日です。さらに、高専では発表やディスカッション等が多くあると思いますが、その経験が社内外でのプレゼンや報告の場でも大きな強みになります。皆さんには大学と違った高専ならではの、他学科や先生との身近さを活かして、様々な人と交流し知見を深め、コミュニケーション能力を養って頂けたらと思います。今の学びが、将来の自分を支える力になります。



施工管理チーム

塙村 ひな

環境都市工学科

令和2年卒業



(2018年竣工 布施田橋)

〒910-0831 福井県福井市若栄町 702

TEL 0776-53-0505

技術者としての誇り

唯一無二の鉄工会社で働く楽しさ

私の仕事は日々現場に出て施工の管理をすることです。「鉄工会社なのに現場に出るってどういうこと?」と思う方もいるかもしれません、福井鐵工は単に工場で製作したものをお客様にお渡しするわけではなく、設計・製作・施工までを一貫して行う珍しい会社です。福井鐵工は様々なインフラ事業に取り組んでいて、機械・土木・電気等の知識が必要になる難しくも非常にやりがいのある仕事だと感じています。特に現場施工では、工場で製作した鋼構造物を職人さんと協力して据え付けるので、迫力満点で他では味わえない達成感が得られます。また、現場に出ると、社内だけでなくお客様や協力会社さんとの関わりがあり、広い視野・知識を持って行動することが必要になるので日々勉強です。福井鐵工ではたくさんの経験ができ、とても充実しています。これからも福井のインフラを支える一員として社会に貢献していきたいです。

高専5年間で習得した専門的知識

私は環境都市工学科に所属していたので、実践的なものでいえばレベルやトータルステーションの使い方や、ドラフター・CADで図面を描く練習をしたり、座学では地盤工学、構造力学の考え方などを学びました。当時の私は正直、授業を聞いても実際のイメージが湧かず、あまり好きではありませんでしたが、就職後は授業でいかに多くのことを学んでいたかを身に染みて感じています。例えば、構造力学で学んだ単純梁の計算は、構造物への力のかかり方を検討する際に非常に役に立ちます。また、施工現場では測量機器を頻繁に使用しますが、学校で使ったことがあるので、一から覚える必要がなく吸収が確実に早いです。普通の学校ではこんな経験はできなかったと思います。就職後に先生方が言われたことや教科書に書いてあったことを思い出し、それを活かせることは非常に強みだと思います。授業を「勉強」ではなく、社会に出る前の「経験」だと思えば、高専で学んだ専門的な知識は必ず社会に出てから役に立つと思います。自信をもって残りの高専生活を満喫して下さい。

福井鉄螺株式会社



造機グループ設備設計係 係長

小濱 宏一郎

生産システム工学科（2009年卒業）

金沢大学大学院自然科学研究科博士前期課程

人間機械科学科（2011年卒業）



細呂木事業所

〒919-0898 福井県あわら市指中 59-115 (TEL 0776-75-7113)

本社

〒919-0898 福井県あわら市山十楽 1-7 (TEL 0776-73-1000)

高専での経験・知識は将来の自分の引き出し

自分のアイデアが形になり、製品を生み出す

福井鉄螺は小さな金属パーツを圧造で製造する会社ですが、私はその金属パーツの加工機や検査機、梱包装置などの設計に携わっています。全く新しい設備の設計を一から任されることもあります。生産能力や精度など求められているスペックをどのように満足するか、耐久性はあるか、安全か、など、設計が考えなければいけない項目は多岐に渡り、頭を悩ませる日々です。ですが自分が考えたアイデアが機械という形になり、それが想定した通りの動きをしてくれたときの達成感はとても大きいです。またその機械で生産したものが、さらに世の中の製品に組み込まれ使われている、ということを考えると、大変やりがいのある仕事だと感じています。

苦手な座学が設計の基礎知識に

私は高専ロボコンにあこがれて入学し、2年間高専ロボコンに携わりました。仲間と長い期間をかけて1台のロボットを作り上げる時間はとても楽しかったですし、今の設計業務にもその経験は生きていると思います。一方、材料力学や流体力学といった座学はとても難しく苦手でした。ですが設計に配属された当時、高専で学んだそれらの知識が設計を進めるうえで欠かせない要素であることを実感し驚きました。（機械設計製図便覧という分厚い教科書がありました）が、学生の時以上に開いていると思います。）設計という業種に限らず、ものづくりの仕事に携わる上で、高専での学びは必ず役に立ちます。どんどんと自分の経験・知識の引き出しを増やし、将来に役立てて頂きたいと思います。

株式会社 福井村田製作所



第3製造部 生産技術2課

北山 歩希

電気電子工学科

令和4年卒業



〒915-8601 福井県越前市岡本町 13-1

TEL 0778-21-8301

あなたもいつしょに ムラタを、未来を、つくりましょう

ムラタのモノづくりを支える重要なポジションでやりがいがあります！

皆さんは福井村田製作所という企業を耳にしたことはあるでしょうか。福井高専キャンパスからもそう遠くはなく、越前市にある主に積層セラミックコンデンサを開発・製造している企業です。私はここで生産設備の保全業務に従事しています。ムラタの保全職は、高品質・高性能な製品を大量生産する際に生産効率を最大限に高める重要な職種です。この為、日々の業務では設備がトラブル停止した際の復旧対応や再発防止、更には設備の状態を最適に保つための点検、生産性・安全性を高める為の改良改善を行っています。まだまだ覚えることが多く大変な面はありますが、学生時代わからなかったことが業務を通して理解できることが楽しく充実しています。また、自ら携わった製品が、スマートや自動車に利用されていることに誇りとやりがいを感じ日々業務に取組んでいます。

学生時代にしかできないことを大切に！

学生時代を振り返ると楽しかった思い出が甦ります。最高の5年間でした。卒業して数年が経った私から言えることは、学生の時間を存分に楽しんで欲しいということです。専門分野を習得する為に、日々勉強に励むことはもちろん大事です。社会人になっても役立つことばかりです。しかし、学生時代は時間に余裕があります。勉強・研究以外にも、趣味であったり友達との時間を大切して下さい。私も学生時代は友達とよく遊んでいました。社会人になると1シーズンに1度くらいしか会うことのできない為、学生時代の友達との時間は宝物です。5年間は思っているより一瞬で過ぎていきます。勉強も遊びも全力で打ち込んでください。



生産本部 武生工場

上山 遼大

専攻科 環境システム工学専攻

令和5年度修了



〒918-8152 福井県福井市今市町 66-20-2

ベルテクス福井本部ビル

TEL 0776-38-3800

災害から人々の暮らしを守る防災メーカー

仕事について

当社は「安心のカタチを造る」をビジョンに、「コンクリート事業」「防災事業」「メンテナンス事業」を展開する防災メーカーです。地震や浸水、落石、土砂災害への対策として、官公庁や建設コンサルタント、ゼネコンと連携し、開発から施工まで一貫したサービスを提供しています。

現在、私は製造部門で品質管理を担当し、生コンクリートの品質や製品寸法のチェック、強度試験を行い、高品質な製品を届ける責任を担っています。製造部門の魅力は、普段目につくことのないインフラ製品に直接関わり、社会の基盤を支えている実感を得られることです。また、10トンを超える大型製品も多く、そのスケールや社会貢献の大きさを日々感じられるのも醍醐味です。こうした社会貢献性の高い仕事に興味がある方、ぜひ私たちと一緒に「安心のカタチ」を築いていきましょう！

高専生へのメッセージ

学生時代に学んだ技術や知識を実務に活かす機会は多くあります。土木系の知識しか活かせないと思われるかもしれません、CADの知識やExcelの知識、製造になると化学の知識も必要になります。そのため土木以外の学科において学んだ知識や技術を活かす機会は多くあり、どの学科でもしっかり勉強しておくと良いと思います。

また、社会人になる上で勉強以外に大切なことも数多くあります。学生時代は自由に使える時間がたくさんありますので、いろいろな経験をしてください。「よく学び、よく遊び、よく食べ、よく寝る」の4つを大切に、楽しく充実した学生生活を送ってください！



技術本部 技術グループ
波木井 将斗
環境都市工学科
平成 22 年卒業



〒918-8152 福井県福井市今市町 66-20-2
TEL 0776-38-3833

パイルメーカーの技術者として

地面の中だからこそ確かな品質を

弊社は構造物を支える基礎杭の設計提案・製造・施工を行っている既製コンクリート杭の専門メーカーです。私は技術グループとして、お客様から基礎杭の設計依頼を頂き、地域による地層・地盤特性を考慮して最適な基礎杭の施工法や杭の仕様（杭径・杭長・杭種）を設計提案しています。

基礎杭を目に見えない地中に打設するため、設計時の地盤評価や施工品質には細心の注意を払うよう心がけています。地層が複雑であったり特殊な構造物の設計では何度も設計者と打合せ、調整したり、難工事では他部署の方を交えて話し合い、施工における問題点を解決しています。特に難工事を任された時は自身のスキルアップにもなりますし、無事完工した時は達成感ややりがいを感じます。

学生時代を振り返って

私の行っている仕事は、建設業の専門的な分野ですが、高専で学んだ専門的なことが今の仕事に役立っていると感じます。入社したばかりの時は、弊社の専門である土質やコンクリートのことをもう少ししっかり勉強しておくべきだったと思いましたが、課題・問題に対して自分で考える力やチームで問題を解決するスキルは高専時代に身についたものだと思います。

本業の勉強はもちろんですが、楽しいことや辛いことなど今しかできない高専での学生生活の経験は必ず将来の糧になります。やりたいことに挑戦して有意義な学生生活を送ってください。



技術サービス部
津田 歩輝
福井工業大学 機械工学科
令和6年卒業



技術サービスセンター 〒910-0362 福井県坂井市丸岡町上安田 7-12
TEL 0776-67-3530
本社 〒910-0011 福井県福井市経田 1丁目 104
TEL 0776-21-0457

新しい知識を吸収できる日々

成長の実感

私は株式会社ホクシンの技術サービス部に所属しており、機械製作の仕事に携わっています。主な業務内容は工業などでみられる大型装置から小型の物まで、お客様の欲しい物を形にするといった仕事をしています。

様々な機械に触れる日々は、毎日が学びであり、設計のスキルや組み立てのスキル等、様々なスキルを習得することができます。そのスキルを用いて様々な機械の製作に携わることはできるのはとてもやりがいを感じます。

この会社に入社してからは学生のころとは一味違った学ぶことに対する楽しさを知ることができました。今後も学ぶ姿勢を忘れず、より働くことが楽しくなるように多くのスキルを習得していきたいと考えています。

充実した社会人生活を送るために

高専生の皆さんには勉学はもちろんのですが、アルバイトやボランティア活動といった社会への経験を通して、様々な人達と接する機会を増やしていってほしいと思います。

私は社会に出て、充実した社会人生活を送るために大切なことは人とのコミュニケーションだと思います。いろんな人と接することによって、まだ見たことのない、経験したことのない世界をたくさん知ることができ、自分一人では見つけられなかった可能性を見つけることができます。

多くの経験を積めることは自身にも繋がります。高専生の皆さんにはチャンスがある今を精一杯頑張ってほしいと思います。



開発部 技師
手塚 大介
金沢大学 大学院
自然科学 研究科
電子情報システム専攻
平成 16 年修了



〒912-0067 福井県大野市右近次郎 33-15
TEL 0779-65-7560

電子機器の開発と製造をするメーカーです

設計から製造まで

北伸電機は、電子機器の開発と製造を行っている会社です。製造部と開発部が同じ建物内にあるので、製品が組み上がっていく様子を直接見ることができます。

私は開発部に所属しており、プリント基板の設計、試作機の作成、動作・性能評価などを行っています。他にもお客様と仕様の確認をしたり、試作/量産部品を手配したり、製造の手順書作成など、プロジェクトの色々な業務に関わっています。想定していたより多岐にわたっており、初めて関わる分野も多く毎日が勉強ですが、視野は広がったように思います。

量産立上げ時は対応もありますし、出荷後もお客様の受入検査まで、少し心配はあります。受入合格の連絡があった時と、リピートの注文を頂けた時が特に嬉しいです。

コミュニケーションは大事です

学生時代は同世代の友人、同じ趣味の仲間とのコミュニケーションが多いと思います。私もそうでした。ですが社会に出ると上司や先輩、取引先など、別の世代の方とのコミュニケーションが多くなってきます。相手に自分と同じ知識があるとは限りませんし、逆も同じです。自分の考えを丁寧に伝えること、相手の考えをよく聞き、分からぬ部分を確認することは、とても重要になってきます。

ゼミや討論会にはできるだけ参加して、コミュニケーション能力を鍛えておくと、きっと役に立つと思います。



福井地区本部 保安グループ

田中 憲太郎

電気電子工学科

平成26年卒業



〒910-0003 福井市松本1丁目1番22号

TEL 0776-24-5626

電気の安全と安心を支える使命を胸に、

「社会になくてはならない存在」として、地域社会に貢献

北陸電気保安協会は、電気の安全かつ適切な利用を促進することを目的として、工場やビルの電気設備の点検や、一般家庭の電気設備の調査を行っています。私は高圧受電の電気設備の点検を主に行っており、業務において保安上の不備を発見することがしばしばあります。その対策や改修について、お客様に適切に助言を行い、未然に電気事故の発生を防いでいます。この業務に私は使命感を感じ、誇らしく思っています。電気の安全を守る保安協会の仕事は社会にとって不可欠な役割であり、地域社会に大きく貢献していると実感しています。

学生時代の苦労が今の自分を支えている

学生時代には、卒業研究発表をはじめ、多くの発表の機会がありました。人前で話すことに苦手意識を持っていた私は、当時の教員から「何を伝えたいのか分からない」と指摘され、悔しい思いをしたことを今でも覚えています。原稿や資料を何度も見直し、発表をやり遂げた経験は、現在の仕事にも大いに活かされています。お客様に電気設備の改修内容を提案する際には、相手の理解度に応じて言葉を選び、納得していただけるように伝えることを常に意識しています。実際に、お客様から「いつも丁寧に対応していただき、ありがとうございます」と感謝の言葉をいただいたときは、とても嬉しく感じました。学生時代の苦労は、決して無駄にはなりません。何事にも挑戦し、困難を糧として、自分自身をさらに高めていってください。



**HOKURIKU
RETREAD**

北陸リトレッド株式会社



営業部 マネージャー
加藤 昌彦



〒915-0801 福井県越前市家久町 24-3-1 (HOT 工程)
TEL 0778-24-1048 (本社事務所)

社員ファーストで目指す社会貢献と人々の幸せ

リトレッドタイヤで環境問題に貢献

走行で摩耗したタイヤをリトレッド（タイヤ溝を張り付け）したり、リトレッドできないタイヤを燃料として利用するリサイクル事業を行っており、リトレッドタイヤの販売も行っています。

私の仕事は、直接ものを作るということではありませんが、顧客訪問や納品、台タイヤの持ち帰り、大手ユーザーとの商談等営業活動がメインです。

リトレッド製造部門がありますが主に運送業界や建設業界向けに需要があり、コスト削減と環境保護の両面で重要な役割を果たします。作業内容は、タイヤの検査、古いトレッドの除去、新しいゴムの貼り付け、加硫処理など多岐にわたり、精密な技術と安全管理が求められます。品質管理や機械操作のスキルが必要で、経験を積むことで工程改善や不良率低減にも貢献できます。持続可能な社会に向けた循環型産業の一端を担う、やりがいのある仕事です。

高専時代から現在に活かしていること

限られた時間と資材の中で試行錯誤を重ね、失敗から学ぶ姿勢や、粘り強く取り組む力を養いました。現在の営業現場でも、トラブル対応において、当時培った論理的思考とチームワークが大いに役立っています。これから社会に出る高専生の皆さんには、「技術だけでなく、人との関わりを大切にすること」が重要だと伝えたいです。現場では、知識以上に柔軟な対応力とコミュニケーションが求められます。自分の強みを信じ、挑戦を楽しんでください。



開発技術部

大西 崇太

物質工学科

平成 27 年卒業

(福井大学大学院生物応用科学専攻 平成31年修了)



〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目 38-3

TEL 0776-51-3535

高専での学びを工織で活かす

災害に強い国づくりに貢献する

弊社は、主に土木工事に用いる資材を製造している会社です。私は、山間部や造成工事で発生したのり面（斜面）を安定化させる材料の開発に取り組んでいます。近年は、豪雨災害が頻発化していることもあり、従来製品をさらに高性能化させることが求められています。一方、環境負荷低減のため、素材の脱炭素化も強く求められており、これらを両立させることが重要なテーマとなっています。

課題は大きく、壁にぶつかる事も多いですが、社内には様々な専門分野に精通した社員が多数おり、自分一人の知識や経験に依存せず、周囲に相談しながら課題解決に向けて努力しています。

実験の大切さ

今振り返ると、高専は実験数の非常に多い、実践型のカリキュラムだったと強く感じます。ものづくりの会社では、自分で仮説を立て、それを実験によって確認し、さらに改良・検証を深めていくという繰り返しによって良い製品が生まれます。高専時代に自然と多く実験を行ってきた事、そしてレポートの書き方なども先生方に厳しく見ていただき、技術者としての基本を身につける事ができました。これは、社会人となった今、非常に役立っていると感じます。皆さんにも、今学んでいる事やそのプロセスが将来必ず役に立つと信じて、頑張っていただきたいです。

人と環境にやさしい道づくり



前田道路株式会社



東海アスコン 所属

平塚 清人

環境都市工学科

卒業年：平成 13 年



〒141-8665 品川区大崎 1-11-3

TEL 03-5487-0019

良い道路を造るために

全国の道路インフラを支える仕事内容

弊社は、高速道路や空港、スポーツ施設等の設計施工を行う【工事事業】とアスファルト合材やリサイクル製品等の製造販売を行う【製造・販売事業】の2つの事業を扱っております。現在私は品質管理職として、アスファルト合材の出荷工場にて品質管理をしています。入社当時から諸先輩方による指導で色々な知識や経験をさせていただきました。基本的に工場には品質管理担当は1人であるため、工場内の品質から製造までの全体を把握し製造部門の柱として行動する傍ら、お客様とのコミュニケーションもあり日々勉強しながら楽しく仕事をしています。

友達・教官は今でも大切です

高専という珍しく恵まれた環境で勉強より課外活動をメインに楽しんでいた記憶があり、他学科の教官にまで怒られていきましたが、現在では優しい教官方にコミュニケーション能力を鍛えられていたのではと思います。社会に出て最も大切だと実感した事でした。これから皆さんも社会に出ることになります。最初は知らない事ばかりで本当に大変だとおもいます。困ったり悩んだりした時には高専の友達の声を聞いたりするのもいいリフレッシュになりましたよ。頑張ってください。



製造部 工機課
松永 将明
機械工学科
平成 31 年卒業



〒918-8152 福井県福井市今市町 4-15
TEL 0776-38-1501

メガネに関わるものづくり

良い治具から良い製品へ

弊社はメガネフレームの製造・販売を行っている会社です。私は工機課に所属しており、メガネの部品を加工する治具や、プレスの金型の設計・製作を行っております。およそ 400 を数えるメガネの製造工程をすべて自社内で行っているため、様々な種類の治具製作に携わることができます。設計通りに加工できることはもちろんですが、なにより治具を使う人がミスなく扱いやすいような治具を作ることを心がけています。

メガネには多くの部品があり、その分治具も必要になってきます。それぞれに最適な治具を作るのは大変ですが、加工が上手くいき良い製品が完成したときはとてもやりがいを感じます。

学んだことは土台になる

高専時代の頃はただ漠然と授業を受けていました。当時は難しく、役に立つかも分からぬことだらけでしたが、仕事をするようになり学んできたことに意味はあったと感じています。専門的な知識のおかげで、仕事で使う知識を学ぶ時も理解しやすかったですし、工場実習で学んだ技術も治具製作の仕事をするうえでとても役に立ちました。もちろん全ての知識を直接的に使ったわけではありませんが、この先新しい事をしていくときに役に立つことがあると思います。また、実験や卒業研究など自分で考える機会が多かったことも設計などの仕事をするうえで活けています。高専ではもっとまじめに勉強していればよかったと思う事もあります。学生の皆さんには、役に立つことが多いと思いますので、知識を付けて自分の力にしてください。



設計部設計課
小田村 真志
専攻科環境システム工学専攻
平成 26 年修了



〒910-0841 福井県福井市開発町 20-6
TEL 0776-52-8400

誠意と創造力で社会に貢献する

人と自然が調和する「暮らし」を創る

私は、ほ場やパイプライン、ため池整備などの農業土木分野を中心に、調査・計画・設計を行っています。クライアントの要望や現地の状況も様々で基準書通りでは上手くいかないケースがあります。ですが、クライアントや地域住民にプレゼンテーションを行い、自分が設計したものが実際に形になるので、それを利用する人々の役に立ち、社会に貢献できることにやりがいを感じます。

また、最近では三次元モデルを活用したプレゼンテーションに力を入れており、平面上の図面ではイメージしにくい構造もタブレットなどを使い三次元化したモデルを活用することで、聞き手側により分かりやすく説明・理解して頂けるよう努力しています。

コミュニケーションの重要さ

社会に出ると、技術の進化が速く、学び続ける姿勢がとても重要です。ですが技術だけでなく、チームワークや報告・連絡・相談といったコミュニケーションも大切なスキルです。社会では一人ではなく、チームで成果を出すことが求められます。高専でのグループワークや発表の経験を活かし、信頼関係を築くためのコミュニケーション能力を磨いてください。チームでの意見調整や上司への報告、顧客とのやり取りなど、協力と効果的な伝え方が求められる場面で非常に役立ちます。最後に、どんな道でも楽しむ気持ちを忘れず、前向きに挑戦していってください。特に学生の時に培った人脈は社会人だけじゃなく今後の人生に大きな財産になると思います。



金沢医用サービス課

瀧澤 諒亮

長野工業高等専門学校

電子制御工学科



〒918-8236 福井県福井市和田中二丁目 907 番地

TEL 0776-23-8070

お客様からの「ありがとう」のために

お客様との対話でつながれる仕事

弊社は、医療機器や分析機器の販売から機器保守・メンテナンス業務まで一貫して行う商社で、高い技術力を持っています。

私は、主にMRIやCTなどの画像診断装置の修理・点検作業を行うサービス部門に所属しています。技術職は直接お客様と会って話す機会が多い為、お客様の要望をしっかりと理解してから修理を行います。難しい知識もたくさんありますが、自分の力で装置を修理できた時はとても達成感を感じますし、お客様に「ありがとう」と言われると何よりもうれしく感じます。

1日でも早く、高い技術力を身につけてお客様の役に立てるように日々奮闘中です。

いろんなことに挑戦しよう！

学生のうちに勉強することに意味のないものはありません。私の業務は高専時代の専攻とはほとんど違うのですが、実習経験が役に立ち、入社後はすんなり仕事に入っていくことができました。

在学中「いつ使うかわからない」と思って受けていた授業も実際に現場に出て業務に携わってみると、学生時代に学んだ回路図の知識を活用することができました。学生の頃にすべて身につけるのは大変ですが、今学んでおくことで何かしらの場面で役に立つことがあるので、いろんなことに興味を持って取り組むことが大切だと思います。



建築部

中村 美貴

東海工業専門学校 建築工学科
平成 25 年卒業



〒910-0834 福井県福井市丸山1丁目1118番地
TEL 0776-54-1165

人間として大きく成長する軌跡がいつまでも街に残る

仕事から得られる大きな感動！

私にとって建物を創る仕事は、夢を叶える仕事。平面の設計図から立体の建物が築かれ、形になっていく過程には何度も経験しても言葉では表現できないくらいの感動があります。この仕事はいかに人とつながり、いいチームワークを築けるかで品質が決まります。また、現場をこなすほど臨機応変に対応する力が身につくので、自分の成長をすごく実感できる仕事だと思います。まだまだ覚えることも多く日々勉強の毎日ですが、会社の先輩や職人さん達も気のいい方が多く、「笑顔でいることが一番の仕事」と言って温かく迎え入れてくれるのですぐに働きやすいです。会社の体制としては残業がほとんどなく、土日はしっかり休めるのでプライベートも充実しているのが魅力です。今は1級建築施工管理技士として頑張っていますが、さらに一級建築士の資格取得に向け勉強にも励んでいます。

体調の自己管理

私は専門学校で建築を学んでいました。周りはほとんどが男子学生で女子学生は少なく不安でしたが、そこは生来の頑張り根性で何とか男子学生についていくことができました。ここでの学校生活でも一度も授業を休むことなく卒業し、これで小学校からの皆勤賞を続けることができました。学校では製図、施工管理、工程管理、測量機器の操作など実践的なことは勿論、建設業法などの法理論も学習し、今の仕事に役立っています。しかし、実務では、この他に安全管理やコスト管理などやるべきことが山のようにあります。まだ全てにおいて未熟ですが、体調の自己管理には自信があるのでこれからも業務に頑張っていきたいです。最後に、皆さんに充実した学生生活を送れますことを心から願っています。



土木工事部
伊豆倉 拓真
専攻科 環境システム工学専攻
令和7年修了



〒910-0844 福井県福井市長本町 209
TEL 0776-54-0993

未来を見つめ、責任ある環境づくりを

建設業の魅力を実感

私は土木工事部で建設工事現場の管理を担当しています。主な現在の業務は、作業員の方々が安全に作業できるように現場の安全面を管理すること、定められた品質基準に沿うように管理することが主な仕事です。

建設業にネガティブなイメージを抱く方も多いかと思いますが、近年では働き方改革を推進し、働きやすい環境へ変化しています。働いている上で大変なこともありますが、先輩方にサポートしていただき、楽しく働くことができています。また、自分が測量したものが初めて構造物になったときにモノづくりのやりがいを感じることができました。

今後は「道端組」の一員であることに誇りを持ち、日々の仕事に全力で取り組んでいきたいと思います。また、高専卒の先輩方に追いつき追い越せるように常に上を目指し、「高専魂」で頑張ります。

これまでとこれからの出会いを大切に

高専で学んだ専門分野の知識はかなり役立っています。はっきりと覚えていることは少ないですが、実習で行った測量などは体が覚えていました。在学生の皆さんには意味のない勉強だと思わず、頑張ってください。

また、高専時代の友人や先輩・後輩、先生方との出会いやつながりは、一生の財産になります。高専でたくさんの素敵な出会いを経験してください。



先進の技術開発で未来へ
株式会社ミルコン



技術営業部 東京事務所 係長

三崎 夏枝

環境都市工学科

平成 14 年卒業



〒910-8560 福井県福井市長本町 202

TEL 0776-52-8007

女性が活躍できる会社

総合職の女性もどんどん増えてきています

ミルコンは 1929 年の創業以来、プレキャストコンクリート製品の設計・開発・製造・販売を行っているメーカーです。私は入社当初、生産部で製品検査や品質管理に携わり、現在は技術営業を担当しております。

土木業界は女性が少ないイメージがあるかもしれません、現在は営業部・技術部・生産部と広い分野で活躍されている女性が増えてきました。フォークリフトを運転される方や難しい専門資格にチャレンジされている方もおります。男女関係なく、私たちの生活に欠かせない社会インフラ整備の一端を社員みんなで担っております。みんなで協力して作り上げた製品が実際の現場に施工される時が嬉しさとやりがいを感じる瞬間です。

今の時間を大切に

入社当時、専門用語が飛び交う中で毎日が緊張の連続でしたが、任された仕事が高専の授業や実習で経験した事があったという事も少なくありませんでした。今まで学んできた事を少しづつ仕事に活かしていくんだと安心できた記憶があります。そして、高専時代の同級生にも仕事を通して再会する事もありました。みんなも頑張っていると思うと心強く感じました。実は困った時にこっそり何度か助けてもらった事もあります。高専で学んだ知識は社会で活躍していくための大きな力になると思います。それと同じく高専時代の友人と過ごした時間は生涯においての大変な時間となりました。皆さんも学業と共に高専生である今の時間を楽しんで過ごしてください。



技術部 設計一課

沖田 夏樹

機械工学科

2023 年卒



〒910-3611 福井県福井市片山町 2-1

TEL 0776-98-5512

産業用自動生産装置をオーダーメイドで設計しています！

盟友技研でのものづくりの魅力

お客様の多種多様な要望に応えるべく、当社の装置はすべてオーダーメイドで設計しています。毎回同じ装置を作るというわけではないので、各々の装置によって新しい発見があったり、最新技術に触れられるという点が当社でのものづくりの魅力のひとつでもあります。

また、私たちの設計した装置で製造されている製品が社会のあらゆる分野で使用されているという点にやりがいを感じます。例えば、スマートフォンや自動車にも当社の装置が関わっています。

私たちの『暮らし』から『宇宙』まで、盟友技研は幅広い分野で活躍している企業です！

ものづくりが好きな方、ものづくりに興味がある方は是非私たちと一緒に働きましょう！

課題に追われていた日々があったからこそ

学校では日々の勉強や課題に追われていて大変かもしれません。私が実際にそうでした。大変だったのですが、学校での学びが今の設計業務で大いに役に立っています。今思うと当時の大変さが、設計者や技術者としての基礎部分を鍛えていたのだと思います。

今まさに課題に追われている学生のみなさん、今みなさんは基礎部分を鍛えている最中です。辛さの先は必ず明るい未来に繋がっているのでこれからも学生生活を頑張ってください！



安全開発課
上野 悠斗
福井工業大学 デザイン学科
令和5年卒業



〒910-8586 福井県福井市照手2丁目6番地16号
TEL 0776-22-3300

モノづくりの楽しさを広めたい

自分が開発した製品を街で見かけたときの感動

安全開発課で、日々保安用品の開発業務に携わっています。具体的には、道路工事の規制に用いられる単管バリケードや、高速道路に並んでいるような赤白の規制材などを開発しています。

私の仕事は材料選定から始まり、3DCADを用いた設計、強度・安全性を確認する為の試験など、モノづくりの1から10まで全ての工程に関わっています。工程が多い分、色々な分野の知識を付ける必要があり、慣れないことは大変かもしれません。ですが、製品が出来上がるまでの苦労が多い分、初めて自分が担当した製品を街中で見かけた時の感動は今でも忘れられません。このような経験から、日頃の業務のやりがいにも繋がり、自分の仕事に誇りをもって取り組むことができます。

学生時代の経験が大きな糧となる

私は大学時代にプロダクトデザインという分野を専攻しており、学生時代からモノづくりの手法や図面の読み方、3DCADの使い方を学んでいました。これらの経験は、日々の開発業務で活かせる機会が多く、社会に出てからかなり有利に働いていると感じます。100m走に例えると、他の人より前の位置からスタートできるような感覚であり、そのスタート位置は学生時代の頑張りで変わってきます。学生の時はどうしても勉強に嫌なイメージがある方も多いかもしれません、自分が社会に出て活躍している姿をイメージして、日々の学業を頑張ってもらえたたらと思います。応援しています。



製造部 製造課
山口 一真
物質工学科
平成25年卒業



〒915-0011 福井県越前市上真柄町 32-26
TEL 0778-27-2100

多くの業界を支える出発地

自分のペースで多くの製品に携わっていく面白さ

製造現場で主にお客様から受託した各種化学工業品の製造を行っています。具体的には、反応缶への粉体原料の仕込、ドラムからの液体仕込、ポンベからのガス吹込みなどのいろいろな作業を組み合せ、製品を作り上げていきます。これらの製品はいろいろな分野で世の中に供給されており、身近な物の中に私たちが製造したものが使われていると思うと、ものづくりに貢献しているんだなと改めて実感し仕事のやりがいを感じています。

各種工程は、毎日いろいろなところが回ってくるので一日の配分を自分で決めながらやっていく面もあり、日々新鮮な感覚で働いています。

資格チャレンジは学生のうちに

高専時代はとにかくテスト週間になってから慌てて勉強していたことを今でも覚えています。仕事をしている中で高専時代に習った専門用語や計算を使う機会、実験で学んだ分析などをやる機会もいくらかあります。その時に改めて学生の頃の経験が活きてくるなと思います。社会人になってからは、学生の頃にたくさん資格を取っておけば良かったなと少し後悔しています。社会人になると、なかなか自分で勉強するといった時間をとるのも難しくなります。学生の間なら勉強するという習慣も身に付いていると思うので、とりあえずすぐには必要ないかなと思うような資格でも積極的に取得して将来のスキルアップに繋げてほしいです。



開発部
岩本 悠希
電子機械科
平成 29 年卒業



〒918-8015 福井県福井市花堂南 2-5-12
TEL 0776-36-0460

日本と世界で使われるテクノロジーを

『雪氷』という地球の共通点

自然現象である降雪や凍結は、国や時間を問わず必ず地球上のどこかで発生しています。その規模の大きさゆえに、各国は除雪・融雪に膨大な費用・人員・時間を割いています。山田技研は福井を開発拠点とし、日本各地にセンサーを設置して作業を支援しています。私は普段、既製品の製造に携わる一方で、各地の製品メンテナンスのため県外出張に出ています。出張先では、社内だけでは知り得ない現場での使用状況や異業種の方々とのやり取りなど多くの新たな発見があり、その後の開発や業務に役立つアイデアが生まれます。また、国外の雪氷関連技術に触れる機会もあり、各国の業務内容を見てみると日本とは異なる考え方や機械、設備、手法が多く見られ、その解決手段の多様さが非常に興味深いです。国や人種を越えて一緒に解決に取り組めるこの仕事を、とても誇りに思っています。

趣味・興味こそが人生の活路

私の好きなアーティストが語った言葉のひとつに『繰り返すことは学びの父だ』というものがあります。

個人を形づくるうえで最も色濃く現れるのは、「何を学んできたか」ではないでしょうか。好奇心や探求心は、爆発的な燃料のように私たちを突き動かし、その学びを支えてくれます。これまでを振り返ると、その好奇心や探求心に助けられてきたことも多くありました。いま心からやりたいことがあるとすれば、ぜひ追いかけてください。それは自分を次のステップへ導く、強靭に支える深い根となるはずです。

ユニフォームネクスト株式会社



システム部 システムグループ
井美 圭大
福井高専専攻科生産システム工学専攻
2025年卒業

▼採用 Instagram



▼採用 HP



〒910-0123

福井県福井市八重巻町25号81番地

TEL:0776-97-8466

チームで築く、ワークライフをハッピーにするシステム開発

“ありがとう”が直接届く仕事

現在は基幹システムの保守・改修や、システムに関する問い合わせ対応を担当しています。開発やテストといった下流工程だけでなく、新人のうちから要件定義や設計などの上流工程にも携わることが当社ならではの魅力です。自分が設計・開発した機能が実際に現場で使われ、業務の効率化につながっているのを見ると大きな達成感があります。また、システム改修やヘルプデスク対応を通して「ありがとう！」と直接声をかけてもらえることが多く、自分の仕事が誰かの役に立っていると実感できるのがやりがいです。

応援団で学んだ“チームで戦う力”

学生時代は応援団に所属し、団長としてチームをまとめる経験をしました。全員で一つの目標に向かって努力する楽しさと同時に、意見をまとめる難しさも学びました。システム開発は一人で黙々と進める仕事と思われがちですが、実際は工程ごとに役割を分担し、チームで連携しながら進めることができます。応援団で培ったコミュニケーション力や仲間と協力する姿勢は、現在の仕事に大きく活きています。これから社会人になる皆さんには、ぜひ多くのことに挑戦し、自分が「やりたい」と思ったことには諦めずに向き合ってほしいです。そして、人とのつながりを大切にしてください。その経験が、きっと大きな力になります。



鯖江支店 第一営業チーム 主任

大越 智貴

仙台大学 体育学部 現代武道学科

平成 29 年卒業



〒916-0015 福井県鯖江市御幸町 1-2-10

TEL 0778-51-8911

頼まれ、頼られ、為になる。地域密着型の企業

吉岡幸から、お客様へ。お客様から地域住民の皆様へ繋がる「幸せ」

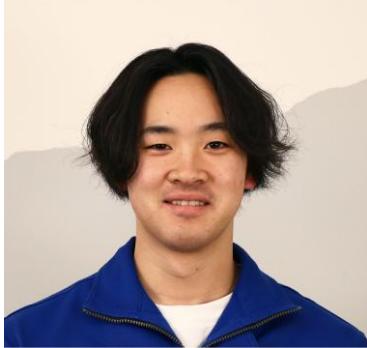
「建設・産業資材のトータルサプライヤー」として、弊社は大正 8 年（1919 年）の創業以来、「みんなが幸せになる。」という創業者精神のもと、鉄をはじめとする産業資材の供給により福井の発展とともに歩んでいる企業です。主に、建築物に使用する鋼材や、水道・ガス関連部材を納める建設業向けの「まちづくり営業」と、機械部品や工具等を納める製造業向けの「ものづくり営業」の 2 つの分野から、お客様に製品と信頼をお届けしています。

お客様により、扱う商材や求められる知識が多種多様であるので、それぞれにフィットした提案を行う必要があります。自分でとことん調べて、お客様が納得する説明をシュミレーションしたり、時にはメーカーを交えて、自分も勉強しながらお客様と商談を行うので、大変ですが凄くやりがいを感じます。

何事もチャンスに

私が学生の頃、特に大学入学の前年に東北大震災がありました。現地ボランティア等で実際に経験した被災地での復興活動を通して、「0 から 1 を作り上げる大変さ」を学びました。そして、就活時にこの経験を何かに活かしたいと思い、吉岡幸株式会社に就職しました。

現在、コロナ渦や近年稀にみる物価高等で、私の学生時代とはまた違った変化が世の中にあります。高専生の皆様がそれぞれ糧となる経験が出来るよう、現在の環境を恨まず、環境に甘えずに、逆に自分の力に変換できるよう「変化をチャンスに」しましょう。頑張ってください。



めっき課
高山 唯斗
物質工学科
令和 5 年卒業



〒916-0081 福井県鯖江市石田下町 43-6-1
TEL 0778-51-9555

仕事が始まってからが勉強

自分自身のベストを出すことがやりがい

高級眼鏡枠への金メッキや美容機器へのプラチナメッキなど、品質と美しさが求められる製品へのめっきを行っています。

私たちの製品は企業向けに提供されており、最終的な使用者の反応を直接知ることはできません。ですが、技術や知識を学びながら、納得のいく最高のめっきを施すことで技術者としてのやりがいを感じています。めっきは濃度や気温の変化によって、仕上がりが変わってしまいます。そのような課題にも日々向き合い、問題が出てきた際には理論的な解決策を追及して、ベストなめっきを提供できるよう努力しています。

コミュニケーションの大切さ

私は現在、高専時代に学んだ知識を直接仕事に生かせていないのが正直なところです。各職種で要求されるスキルや知識は異なるため、学んだことがすぐに役立つわけではないと感じています。しかし、高専での学生会長としての経験は私にとって非常に価値あるものでした。体育祭や高専祭といったイベントを通じて、コミュニケーション能力の必要性を感じ、正確に伝えることや、独りよがりな考え方にならないよう相手を理解することの大切さなど、多くのことを学びました。とはいっても社会人になって、より一層コミュニケーションの難しさを実感しています。責任が重くなる分、適切なコミュニケーションが求められます。今のうちから、なんでもない日常の中で「コミュニケーションの取り方」というものを意識しながら過ごしてみてください。



令和8年1月発行

独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
tel 0778-62-1111 (代) fax 0778-62-2597

【就職・進路等に関する事】

学生課キャリア支援室
tel 0778-62-8312
e-mail sinro@fukui-nct.ac.jp

【技術相談・共同研究等に関する事】

総務課プロジェクト支援係
tel 0778-62-8296
e-mail project@fukui-nct.ac.jp